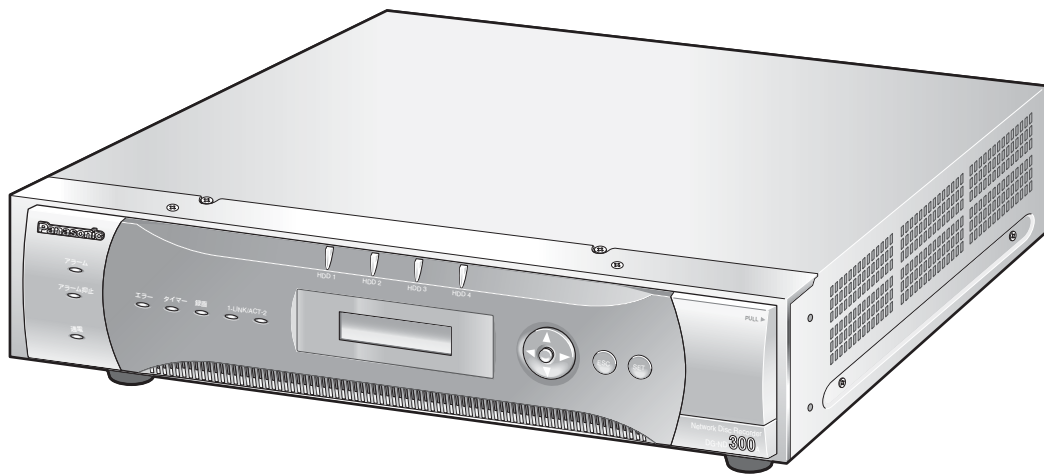


Panasonic®

取扱説明書 操作編

ネットワークディスクレコーダー

品番 DG-ND300A シリーズ



本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、DG-ND300A/2、DG-ND300A/4、DG-ND300AR/4、DG-ND300AR4Lの取扱説明書です。

はじめに

商品概要

本機（DG-ND300Aシリーズ）は、ネットワークカメラで監視している画像を録画・再生するネットワークディスクレコーダーです。

本機は、ビデオテープの代わりにパーソナルコンピューター（以下、PC）などに使用されている記録装置であるハードディスクドライブ（以下、HDD）を内蔵した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がありません。

本機はネットワークを経由して、32台までのカメラを接続し録画できます。また、本機の設定や操作はネットワークに接続されたPCのウェブブラウザから行います。本機へは最大8ウェブブラウザから同時に接続し、設定や操作を行うことができます。

本機（DG-ND300Aシリーズ）とは以下のものを総称しています。

- DG-ND300A/2 : 250GB HDD2台搭載、RAID5ボードなし
- DG-ND300A/4 : 250GB HDD4台搭載、RAID5ボードなし
- DG-ND300AR/4 : 250GB HDD4台搭載、RAID5ボードあり
- DG-ND300AR4L : 500GB HDD4台搭載、RAID5ボードあり

商品の特長

多彩な録画機能

● マルチレコーディング機能

カメラの場所によって録画レートを変えて録画したい場合など、運用形態が異なる環境でも、本機1台で効率的に運用できます。

● スケジュール機能

指定した曜日の指定した時間帯に自動で録画を行うよう設定できます。さらに、時間帯ごとに録画レートを変えることができます。

● 緊急録画機能

緊急事態などが発生したときに、外部に設置したスイッチ操作で、緊急録画モードに切り換えて録画します。

● 外部タイマー録画機能

タイマースイッチなどの外部タイマーを利用して自動的に録画します。

● イベント録画機能

センサーからの信号入力など、イベント発生時に録画時の録画レートを高いレートに切り換えて録画することができます。

画像のダウンロード／送信

ウェブブラウザに表示している画像をPCのHDDにダウンロード（保存）できます。FTPサーバーを設定すれば、指定したFTPサーバーに画像を定期的送信できます。また、イベント発生時にアラーム発生場所の画像を送信することもできます。

イベント通知機能

イベントが発生したとき、指定した電子メールアドレスに電子メールを送信して通知することができます。電子メールを送信する際、アラーム発生場所の画像を添付して送信することもできます。

安心のセキュリティ機能

- ユーザー認証機能の搭載により、ユーザー名とパスワードにて操作できる機能を限定できます。また、ユーザーは32ユーザーまで登録できます。
- また、ホスト認証機能も搭載しており、登録されていないIPアドレスからは本機を操作できないように設定できます。
- 万が一、HDDが故障したときでも、録画した画像の消失を防止するRAID5機能を搭載しています。（DG-ND300AR/4、DG-ND300AR4Lのみ）

取扱説明書について

取扱説明書は、本書と取扱説明書 設置工事編、取扱説明書 設定編（PDFファイル）の3部構成になっています。本書は本機をネットワークを経由してPCから操作する方法について説明しています。本機をネットワークを経由してPCから操作するにあたって必要な機能の設定方法や、機器の接続方法などについては、取扱説明書 設定編（PDFファイル）をお読みください。ただし、こちらは工事業者向けです。本機のネットワークに関する設定は、本機が接続される社内LANやサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。本機の前面にあるボタンで直接本機を操作する方法については、付属の取扱説明書 設置工事編をお読みください。PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のDG-ND300A、ND300Aとは本機およびDG-ND300Aシリーズをあらわしています。また、専用ソフトウェアおよびカメラの対応機種、バージョンについては付属のCD-ROMの「readme.txt」をお読みください。

必要なPCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCを推奨します。推奨外のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

対応OS	Microsoft® Windows Vista® 32ビット 日本語版※ Microsoft® Windows® XP Professional SP2 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2 日本語版
CPU	Pentium® 4 3.0 GHz以上
メモリ	512 MB以上（ただし、Microsoft® Windows Vista®をお使いの場合は1 GB以上）
画面	1024×768ピクセル以上の解像度、True color 24ビット以上
インターフェース	10/100 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること
ウェブブラウザ	Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP2 日本語版 ※対応OSがMicrosoft® Windows Vista® 32ビット 日本語版の場合、Windows® Internet Explorer® 7.0 日本語版
その他	CD-ROMドライブ（取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため） DirectX® 9.0c以上 Adobe® Reader®（取扱説明書を閲覧するため）

メモ

- 推奨以外の環境のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生する恐れがあります。
- サウンドカードが搭載されていないPCでは、音声を再生することはできません。また、ネットワークの環境によっては、音声途切れる場合があります。
- Microsoft® Windows Vista®を使用する場合に必要なPC環境や注意事項など、詳しくは「Vista使用時の注意事項」（PDFファイル）をお読みください。

商標および登録商標について

- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows Vista® 日本語版をWindows Vistaと表記しています。

Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版をWindows XPと表記しています。

用語について

HDD

ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

録画レート (ips,I-Frame)

録画画像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。ipsは1秒間の記録コマ数をあらわします。数字が大きいほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。I-Frameはカメラ側で設定されているリフレッシュ周期のことをあらわします。

解像度

本機がカメラ画像を録画する際の画像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。本機では、画面上に表示されるドット数で表し、水平720ドット、垂直480ドットの場合、720×480と表記します。

M-JPEG

本機からの要求により、カメラから連続的にJPEG画像を送信してくる動画方式です。カメラ側から画像を1枚1枚取得する方式に比べ、ネットワークの負荷は下がりますが、カメラ側の状態により配信レートは変動し

ます。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

マニュアル録画

[録画] ボタン、[録画停止] ボタンをクリックして手動で録画を開始・終了する機能です。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

イベント録画

イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するポスト録画があります。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画を行う機能です。

外部録画モード

本機に接続した外部スイッチを使用して、タイムテーブルを切り換える機能です。スイッチが入力されている間、外部録画用に設定したタイムテーブルが動作します。

SDメモリー録画、SDメモリーデータ

SDメモリー録画とは、本機に設定されているタイムテーブル録画の時間内にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存しておくというカメラ側の機能です。SDメモリーデータとはその録画画像のことを言います。SDメモリーデータの録画時刻はカメラが持つ時刻になります。

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象をあらわします。イベントには、端子アラーム・コマンドアラーム・サイトアラームがあります。

イベント動作

イベント発生時に行う特別な動作をあらわします。イベント動作にはALM（アラームモード）・ADM（アクティビティディテクションモード）があり、どちらのモードで動作するか設定することができます。ALMでは、イベントの発生を画面表示、LED、ブザーなどで外部に通知します（アラーム動作）。ADMでは、イベントの発生を通知する動作は行わず、録画とプリセット動作、イベントログへの記録のみを行います。OFFでは、イベントログへの記録のみを行います。

シーケンス

カメラの画像を決められた順番で自動的に切り換えて表示することです。本機は、ライブ画像を表示しているときにシーケンスを行うことができます。

電子ズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、電子ズーム機能は本機内で画像の拡大処理を行い表示します。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、明るさ（レンズの絞り）、プリセット動作（指定水平・垂直位置への移動）、オート機能（カメラの自動回転など）操作を行うことです。

A-Bリピート再生

再生時に始点（A点）と終点（B点）を設定し、A-B間で繰り返し再生を行う機能です。

HDDセーフティモード

本機の電源を入れたままラックへ取り付けたり取り外したりする際に、振動や衝撃によってHDDが故障しないようにHDDの電源を切る機能です。

ディスクコンフィグ

HDDの交換・抜き取り・追加を行った場合は、HDDの設定を行う必要があります。ディスクコンフィグとは、HDDの設定を行うメニューのことです。

RAID (RAID5)

Redundant Arrays of Inexpensive Disks 5の略称で、HDDを複数台用いてアクセスを分散させ、高速、大容量で信頼性の高いディスク装置を実現するための技術を指します。1台のHDDに障害が発生しても、他のHDDに記録されているエラー訂正データを元に障害が発生したHDDのデータを復元することができます。（RAID5は、3台以上のHDDが接続されている時に使用できます。また、同時に2台以上のHDDに障害が発生した時は、障害が発生したHDDのデータを復元することはできません）

システムの管理者

本機の設置／運用に関する設定責任および権限を持った人のことです。

もくじ

はじめに

はじめに

商品概要	2
商品の特長	2
取扱説明書について	3
必要なPCの環境	3
商標および登録商標について	3
略称について	4
用語について	4
カメラ画像の録画・再生・ライブ画配信のしくみ ..	8
録画のしくみ	8
再生のしくみ	8
ライブ画配信のしくみ	8
MPEG-4画像使用時の制約事項	9

録画・再生

録画・再生

録画する	11
再生する	13
ディスクを選んで再生する	16
頭出し再生する	18
録画イベントを検索して再生する	19
絞り込み条件について	19
録画イベントリスト画面表示について	19
操作のしかた	20

見る

見る (ライブ画像)

カメラのライブ画像を見る	22
カメラの画像を1画面で表示する	22
カメラの画像を4画面で表示する	23
カメラの画像をシーケンス表示する	24

カメラ操作

カメラ操作

カメラを操作する	25
パン/チルト操作	25
ズーム・フォーカス・明るさ操作	26
カメラの向きをプリセットポジションに登録する	27
カメラの向きをプリセットポジションへ移動する	27
カメラの自動モード機能（オートパンなど）	28

イベント機能

便利な機能

その他

イベント機能

イベント機能について	29
イベント発生時の動作	29
アラーム動作を解除する	31
アラーム動作を抑止する	31

便利な機能

コピーする	32
HDDに記録している画像を手動で消去する	33
文字情報を表示／編集する	34
FTPサーバーにカメラ画像を送信する	35
定期的にカメラの画像を送信する	35
イベント発生時にカメラの画像を送信する	35
履歴を確認する	36
障害発生履歴を確認する	36
本機へのアクセス履歴を確認する	37
イベント発生履歴を確認する	38
ネットワークの障害履歴を確認する	39
SDメモリーカードの画像を取得する	40
再生画像をダウンロードする	41
ダウンロードした画像を操作する	43
本機からビューワーソフトをダウンロードする	43
ビューワーソフトをインストールする	44
ビューワーソフトをアンインストールする	46
画像を再生する	46
画像を保存する	47
画像を印刷する	48
改ざん検出を行う	49

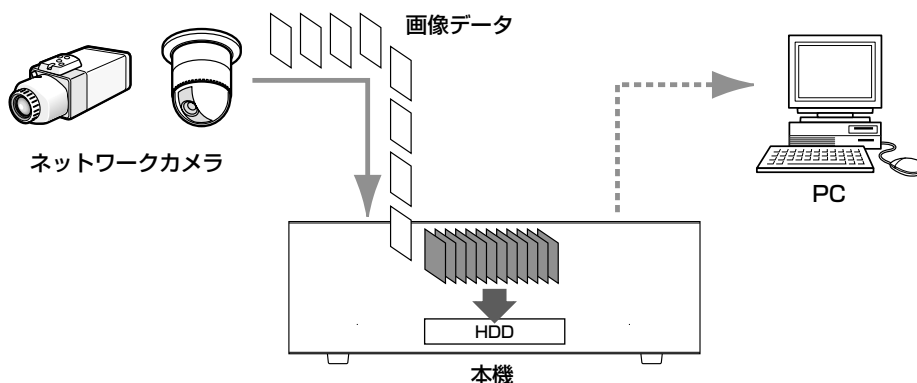
その他

メール通知について	50
アラームメールについて	50
アラームメールの内容をカスタマイズする	50
障害メールについて	52
障害履歴について	53
エラー動作について	56
故障かな!?	58

カメラ画像の録画・再生・ライブ画配信のしくみ

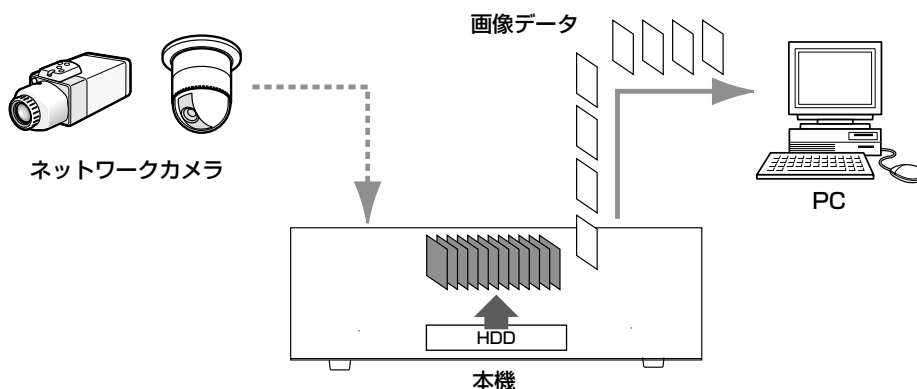
録画のしくみ

ネットワークカメラからカメラ画像が送られ、本機に録画します。1台のネットワークディスクレコーダーに最大32台までのカメラの画像を録画できます。画像はJPEGおよびMPEG-4に対応しています。



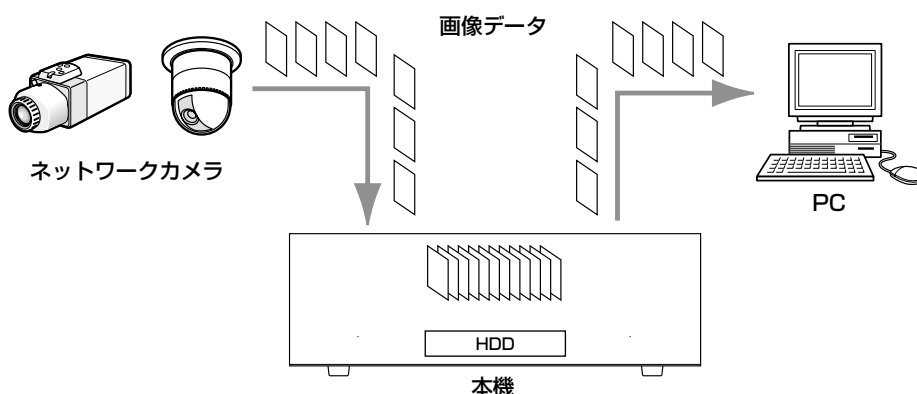
再生のしくみ

本機のHDDに録画された画像をPCへ配信し表示します。1台のネットワークディスクレコーダーから最大8台までのPCへ画像を配信することができます。画像はウェブブラウザまたは専用マネジメントソフトウェア（WV-AS65：別売り）を使って表示します。



ライブ画配信のしくみ

ネットワークカメラの画像を本機を経由してPCへライブで配信します。最大32台のネットワークカメラの画像を最大8台のPCへ同時に配信することができます。



MPEG-4画像使用時の制約事項

セットアップメニュー（詳細設定）[カメラ] - [ネットワークカメラ設定] で、画像圧縮方式を「MPEG-4」に設定した場合、以下のような制限事項があります。

設定を変更する場合は取扱説明書 設定編（PDFファイル）をお読みください。

1. カメラのライブ画像表示時

①カメラのライブ画像表示中に、以下の操作を行うと最初の数秒間（※）だけ黒画表示されることがあります。

- ・ MPEG-4画像のライブ画像を表示したとき（カメラCHの切り換えなど）
- ・ MPEG-4画像を拡大⇄縮小の表示切り換えをしたとき

②4画面表示時、MPEG-4画像は画像更新間隔が数秒（※）かかることがあります。

例) カメラ側のリフレッシュ周期が3秒の設定の場合、3秒間隔で画像が更新されます。

③セットアップメニュー（簡単設定）[録画/イベント設定] - [録画方式] が「QUICK（簡単）」に設定されている場合、MPEG-4画像のライブ画像は表示されません。MPEG-4画像のライブ画像を表示したい場合は、「ADVANCED（詳細）」に設定してください。

2. シーケンス表示時

セットアップメニュー（詳細設定）[カメラ] - [シーケンス設定] で選択したカメラCHに設定された画像の圧縮方式がMPEG-4の場合、そのシーケンスステップはスキップされます。

3. 録画画像再生時

①MPEG-4画像の再生中に以下の操作を行うと、数秒間（※）だけ再生時間が飛んで表示されることがあります。

- ・ MPEG-4画像の録画画像を再生したとき（カメラCHの切り換えなど）
- ・ MPEG-4画像を拡大⇄縮小の表示切り換えをしたとき
（再生の一時停止中に表示切り換えをすると、停止中の画像ではなく数秒後の画像が拡大表示されることがあります。）
- ・ MPEG-4画像の再生中に、再度、再生ボタンをクリックした場合
- ・ 一時停止中にコマ送り再生した際の最初の1コマ目

②再生中に以下の操作を行うと、数秒間隔（※）で再生されます。

- ・ 逆再生
- ・ 高速再生/高速逆再生
- ・ 逆コマ送り再生

例) カメラ側のリフレッシュ周期が3秒の設定の場合、3秒間隔の画像が再生表示されます。

③録画画像を再生中に次の録画画像に移る際、前の録画画像に次の録画画像が重なって表示されることがあります。

④A - B リpeat再生を行うと、黒画表示になります。

⑤日時検索（頭出し）を行うと、指定した日時より、数秒後（※）の画像から再生されることがあります。また、次の録画データの先頭から再生されることがあります。

MPEG-4画像使用時の制約事項（つづき）

4.録画時

①録画開始の要因（イベント発生やスケジュール録画など）の発生時刻と、実際に録画される時刻（録画イベントリストの時刻）が数秒間ずれることがあります。

また、実際の録画時間がカメラ側のリフレッシュ周期（秒）×2の時間分だけ短くなる場合があります。

例）録画時間設定が10秒、カメラのリフレッシュ周期が1秒の場合、

$$10\text{秒} - (1\text{秒} \times 2) = 8\text{秒}$$

となり、実際の録画時間の最短値は8秒になります。

②イベント・プレ録画を設定している場合、設定した時間より長い時間録画されることがあります。

例）イベントプレ録画時間が5秒に設定されている場合、画像データサイズなどによっては約10秒間プレ録画される場合があります。

③セットアップメニュー（簡単設定）[録画／イベント設定]－[録画方式]が「QUICK（簡単）」に設定されている場合、MPEG-4画像は録画されません。MPEG-4画像を録画したい場合は、「ADVANCED（詳細）」に設定してください。

5.コピー時

録画画像をコピーする際、指定した開始日時より数秒後（※）の画像からコピーされることがあります。確実にコピーしたい画像がある場合は、その画像の録画時間の数秒前を開始日時として指定してください。また、コピーの日時範囲は、カメラ側のリフレッシュ周期時間より長く指定してください。

6.再生画像のダウンロード時

再生画像をダウンロードする際、指定した始点日時より数秒前（※）の画像からダウンロードされることがあります。また、ダウンロードの日時範囲は、カメラ側のリフレッシュ周期時間より長く指定してください。

7.イベント発生した際の録画画像のFTPサーバー送信時

イベント発生時に録画画像をFTPサーバーに送信する際、設定されたプレ送信時間、ポスト送信時間どおりの画像が送信されないことがあります。また、プレ送信時間、ポスト送信時間は、カメラ側のリフレッシュ周期時間より長く設定してください。

8.その他

①アラームメールに、MPEG-4画像は添付されません。

②FTPサーバーにカメラのライブ画像を定期的送信するよう設定していても、MPEG-4画像の場合は送信されません。

※時間は、カメラ側のリフレッシュ周期設定によります（設定範囲：1～5秒）。時間差を少なくしたい場合は、カメラ側のリフレッシュ周期を短い時間に設定してください。リフレッシュ周期の設定方法はカメラの取扱説明書をお読みください。

録画する

録画の開始/終了を手動で行います。

マニュアル録画する場合に必要な設定については、システムの管理者にご確認ください。

また、本機の起動のしかた、操作画面の表示のしかたについては取扱説明書 設定編 (PDFファイル) をお読みください。

画面1

[HDD] タブを表示します。



STEP1

[録画] ボックスの [▲] ボタンをクリックします。

メモ


- 録画ボタン、録画停止ボタンが表示されるまで、[▲] ボタンを押し続けてください。

画面2

[録画] ボックスに録画ボタンが表示されます。



STEP2

-  (録画ボタン) をクリックして録画を開始します。
- 録画が開始されると、ステータス表示部のRECランプが赤点灯します。
- マニュアル録画よりも優先度の高い録画モードで録画が行われているカメラの画像は、その録画モードでの録画が終了するまで録画を待機します。録画モードについては次ページをお読みください。

STEP3

録画を終了するときは、 (録画停止ボタン) をクリックします。

→ステータス表示部のRECランプが消灯します。

メモ

- 他の録画モード (次ページ参照) で録画が行われている場合、マニュアル録画を停止してもそのイベント録画は継続し、RECランプは赤点灯したままになります。
- カメラから画像データが受信できていない場合、録画されません。

録画する（つづき）

録画モードと優先度について

本機には、5種類の録画モードがあります。それぞれの録画モードと優先度は次のとおりです。
複数の録画モードでの録画が同時に始まった場合、優先度の高い録画モードでの録画が行われます。

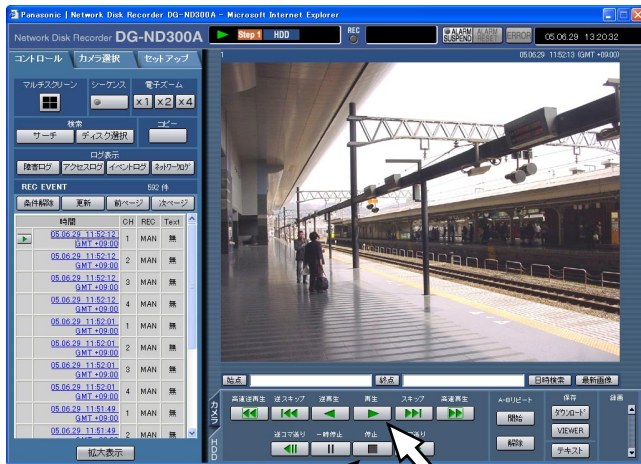
録画モード	概要	優先度
緊急録画	緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどを使用して録画を手動で行います。	最優先
イベント・ポスト録画	各種イベントが発生した後の録画を自動で行います。	2
マニュアル録画	録画の開始／終了を手動で行います。	3
スケジュール録画	指定したタイムテーブルの録画を自動で行います。	4
イベント・プレ録画	各種イベントが発生する前の録画を自動で行います。	5

再生する

録画した画像を再生します。再生操作は、録画中も行うことができます。

画面1


[HDD] タブを表示します。



STEP1
STEP2

STEP1

[再生] ボタンをクリックします。

→録画画像を再生します。ステータス表示部に  が表示されます。

前回再生を終了した日時から再生を開始します。

メモ

●ログイン後、初めて再生した時は、最新の画像から再生します。初期設定では最新の30秒前から再生を開始します。再生開始時刻は以下から設定できます。

最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1分前／最新5分前

設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

- 本体の負荷が高い場合（接続カメラ台数が多い、ライブ／再生画面数が多い場合など）、再生速度が遅くなることがあります。
- 4画面表示中は、実際の録画映像を間引いて再生します。
- 高いレートと低いレートで録画された映像を4画面で混在して再生すると、ch間の時刻差が大きくなります。
- SDメモリーデータを再生するには、録画イベント検索で絞り込みを行い、録画イベントリストから選択して行ってください（※19ページ）。

STEP2

再生を停止するときは、[停止] ボタンをクリックします。








→ステータス表示部の  が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。


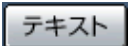






メモ

- 再生中に [カメラ選択] タブをクリックして、カメラタイトルをクリックすると、カメラCHを変更できます。
- 再生中に [マルチスクリーン] ボックスのボタンをクリックすると、4画面表示に変更できます。
- 4画面表示中に画像のカメラタイトルをクリックすると、クリックしたカメラの画像が1画面表示されます。

再生する（つづき）

再生中の便利な機能

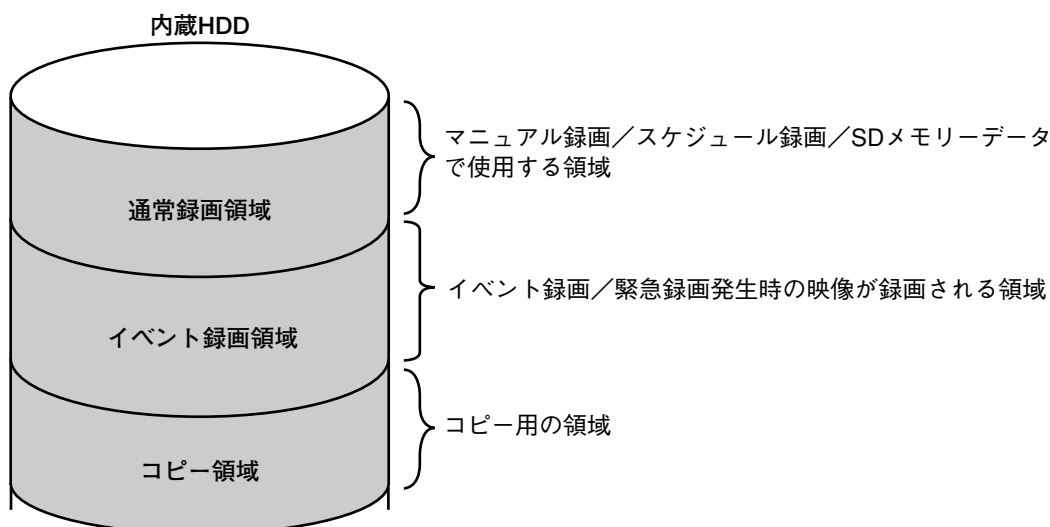
一時停止		<ul style="list-style-type: none"> ●再生中に押すと、再生を一時停止します。 ●一時停止中に押すと、再生を再開します。
コマ送り／逆コマ送り	 	<ul style="list-style-type: none"> ●操作は再生中、一時停止中に行うことができます。 ●[コマ送り] ボタンを押すと、1コマ再生した後、一時停止します。 ●[逆コマ送り] ボタンを押すと前の1コマを再生した後、一時停止します。 <hr/> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再生画像がMPEG-4画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期で逆コマ送りされます。
高速再生／高速逆再生	 	<ul style="list-style-type: none"> ●[高速再生] ボタンをクリックするたびに再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。 ●[高速逆再生] ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。 ●高速再生中、高速逆再生中に[再生] ボタン、[逆再生] ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。 <hr/> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再生画像がMPEG-4画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期で高速再生／高速逆再生されます。
スキップ／逆スキップ	 	<ul style="list-style-type: none"> ●[スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の新しい画像にスキップして再生します。 ●[逆スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の古い画像にスキップして再生します。 ●スキップ先が存在しない場合は、現在の再生を続けます。このとき再生時刻が1分程度戻る場合があります。
最新画像へスキップ		<ul style="list-style-type: none"> ●現在再生している画像の最新録画時刻へスキップし、再生を行います。初期設定では最新の30秒前へスキップします。最新画像へのスキップ先は以下から設定できます。最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1分前／最新5分前から選択できます。設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。 ●ライブ画像を表示しているときに[最新画像] ボタンをクリックすると、最新録画時刻の画像から再生を開始します。 <hr/> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●低いレートで録画中に[最新画像] ボタンを押すと、最新の録画画像で一時停止もしくは画像が表示されない場合があります。

多画面再生		<ul style="list-style-type: none"> ● 分割画面（4画面）で再生画像を表示します。 ● 4台までのカメラの画像を同時に4画面で表示します。 ボタンをクリックするたびに、あらかじめ設定された4つのCHの4画設定（A～H）の画像をAから順に切り換えて表示します。 カメラグループの設定については、取扱説明書 設定編をお読みください。 ● 1画面表示に戻すときは、[カメラ選択] タブにあるカメラタイトル、または画像に表示されているカメラタイトルをクリックします。 <hr/> <p>✎ メモ ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多画面再生中に各CHの同期がずれてくる場合がありますが、一時停止操作後に再度 [再生] ボタンをクリックすることで同期を合わせることができます。 ● 多画面再生中にコマ送り操作をすると、コマ送りされるCHの画像にばらつきが出ます。
テキスト (▶▶▶ 34ページ)		<ul style="list-style-type: none"> ● 再生中の画像に記録されている文字情報を表示します。 再生を一時停止し、[テキスト] ボタンをクリックします。 ● 文字情報の表示／編集は録画画像を1画面で再生一時停止しているときのみ有効です。
電子ズーム		<ul style="list-style-type: none"> ● 再生中の画像やカメラのライブ画像を拡大表示します。 ● 1画面表示しているとき、[電子ズーム] ボックスにあるボタンをクリックして画像をズーム表示します。 [×1] ボタン：電子ズーム1倍で表示します。 [×2] ボタン：電子ズーム2倍で表示します。 [×4] ボタン：電子ズーム4倍で表示します。 ズーム表示中に画像をクリックすると、その位置を中心に移動できます。
A-Bリピート再生	   	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定した区間を繰り返し再生します。 ①再生中に [始点] ボタンをクリックし、再生を開始する位置（A点）を設定します。 → [始点] ボタンの右にリピート始点時刻が表示されます。 ②再生を終了する位置（B点）で [終点] ボタンをクリックします。 → [終点] ボタンの右にリピート終点時刻が表示されます。 ③ [開始] ボタンをクリックすると、A-B点間を繰り返し再生します。 ④A-Bリピート再生中に [解除] ボタンをクリックすると、通常再生に戻ります。 <hr/> <p>✎ メモ ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再生画像がMPEG-4画像の場合、A-Bリピート再生中は黒画になります。
拡大表示		<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのライブ画像、再生画像を拡大表示します。 <hr/> <p>✎ メモ ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示している画像がMPEG-4画像の場合、拡大表示を行うと数秒後の画像から拡大表示されることがあります。

ディスクを選んで再生する

カメラ画像は本機の内蔵HDDに録画されます。
ここでは、ディスクを選んで、カメラ画像を再生する方法を説明します。
選択できるディスクは以下のとおりです。

- 通常録画領域 : 本機の内蔵HDD内の録画領域です。マニュアル録画 (P.11) やスケジュール録画、SDメモリーデータで使用する領域です。
- イベント録画領域 : イベント録画 (P.29) / 緊急録画 (P.12) で使用する領域です。
- コピー領域 : 本機の内蔵HDD内のコピー領域です。録画された画像をコピーする (P.32) 領域です。

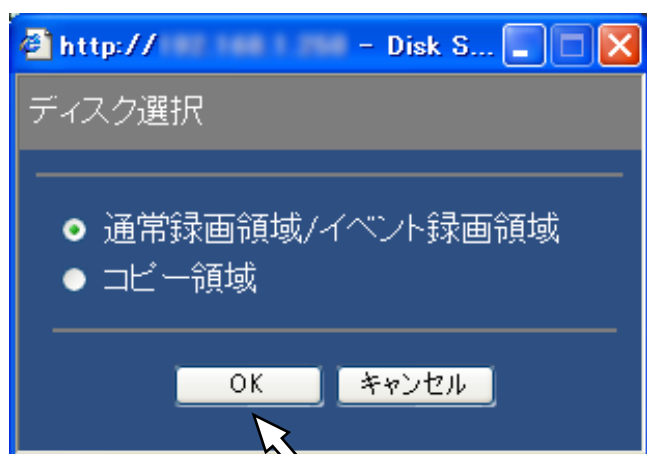


メモ

- ここでは、内蔵HDDや増設ユニット内蔵のHDDなどを「ディスク」と表現しています。
- 再生操作は、録画中にも行うことができます。
- 各録画領域の容量は設定によって異なります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

画面1

[コントロール] タブの [検索] ボックスにある [ディスク選択] ボタンをクリックし、ディスク選択画面を表示します。



STEP1

再生したい領域にチェックをいれます。

STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- 再生中はディスク選択画面は表示されません。
- 以下の場合は、ポップアップ画面が表示され、コピー領域を選択できません。
 - ・他のユーザーがコピー領域を選択しているとき
 - ・手動コピーが行われているとき

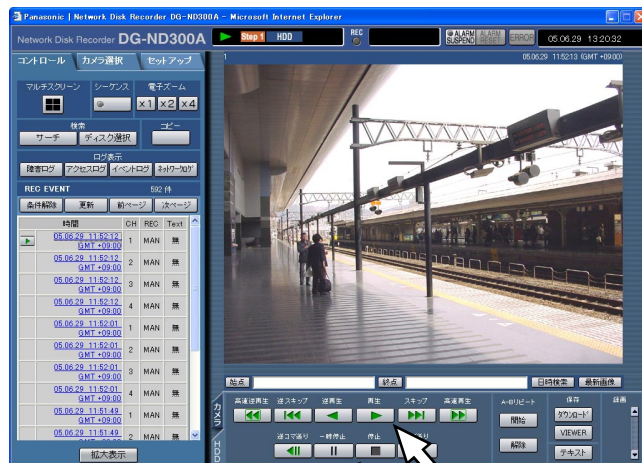
画面2

選択したディスクがステータス表示部に表示されます。



画面3

[HDD] タブが前面に表示されます。




STEP4
STEP5

STEP3

[HDD] タブをクリックします。

STEP4

[再生] ボタンをクリックします。

→選択したディスク内の録画画像を再生します。ステータス表示部に  が表示されます。

メモ

- 再生停止後、[再生] ボタンを押すと、前回再生を完了した日時から再生を開始します。

STEP5

再生を停止するときには、[停止] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の  が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

頭出し再生する

見たい画像の日時を指定して再生します。再生操作は、録画中にも行うことができます。

画面1

再生したいカメラCHを選択してから、再生位置操作部にある[日時検索] ボタンをクリックし、再生開始日時画面を表示します。



STEP2

STEP1

[V] ボタンをクリックして再生したい画像の日時を設定します。


●基準CH

設定した日時がどのカメラCHのタイムゾーンを基準にするのかを設定します。

(国をまたがってカメラを設置している場合など、どのカメラCHの日時を基準にするのか設定する必要があります。本機とカメラが同じタイムゾーンに設置されている場合は、「--」に設定してください。)

STEP2

[再生] ボタンをクリックします。

→入力した日時の画像が再生されます。ステータス表示部に  が表示されます。

指定した日時の画像がない場合は、以下のようになります。

入力日時以降に録画画像がある場合、入力日時以降の最も近い画像から再生します。

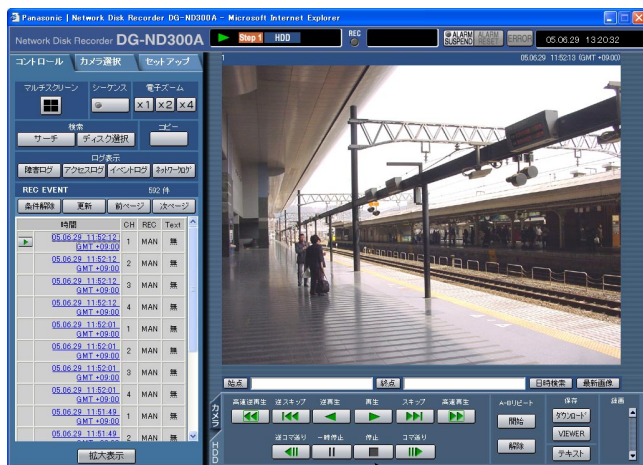
入力日時以降に録画画像がない場合、入力日時以前の最も新しい画像から再生します。

メモ

- 再生画像がMPEG-4画像の場合、指定した時刻の数秒後から再生される場合があります。
- 本機内のSDメモリーデータは日時で検索再生できません。録画イベント検索から絞り込み、イベントリストを選択してください (P.19ページ)。

画面2

画像が再生されます。



STEP3

STEP3

再生を停止するときは、[HDD] タブの [停止] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の  が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

録画イベントを検索して再生する

録画イベントリストを表示し、その中から再生したい録画イベントを検索して再生します（録画イベントサーチ）。録画イベントは以下の条件で絞り込んで検索します。

メモ

- 録画イベントの検索は選択しているディスク領域によって検索できる領域が異なります。通常録画領域、イベント録画領域内の録画画像を検索したい場合は、通常録画領域／イベント録画領域をディスク選択してください。また、コピー領域内の録画画像を検索したい場合は、コピー領域をディスク選択してください。ディスク選択については16ページをお読みください。

絞り込み条件について

絞り込み条件	検索方法
日時	検索開始日時と検索終了日時を選択し、その間に録画されている画像のみ検索します。
イベント	選択した録画モードの画像のみを検索します。選択できる録画モードは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">マニュアル：マニュアル録画（11ページ）スケジュール：スケジュール録画（取扱説明書 設定編）緊急：緊急録画（取扱説明書 設定編）サイトアラーム：サイトアラームによる録画（29ページ）端子アラーム：端子アラームによる録画（29ページ）コマンドアラーム：コマンドアラームによる録画（29ページ）SDメモリー：SDメモリーデータ（取扱説明書 設定編）
テキスト	テキスト有りで録画されている画像またはテキスト無しで録画されている画像を検索します。

録画イベントリスト画面表示について

リストアップされたデータの件数



時間	CH	REC	TEXT
05.09.27 *15:48:27 GMT +09:00	10	MAN	無
05.09.27 *15:48:02 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:45:14 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:42:26 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:39:38 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:36:49 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:34:01 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:30:58 GMT +09:00	3	CAM	無
05.09.27 *15:28:25 GMT +09:00	3	CAM	無

リストアップされたデータの件数

：リストアップされたデータのトータル件数を表示します。
10 000件以上の場合は「>10000件」と表示されます。

[条件解除] ボタン

：絞り込みを解除し、すべての録画イベントをリストアップします。

[更新] ボタン：表示内容を最新の状態に更新します。

[前ページ] ボタン：前のリスト表示のページを表示します。

[次ページ] ボタン：次のリスト表示のページを表示します。

時間：録画開始日時を表示します。

CH：録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。

REC：録画モードを表示します。

MAN：マニュアル録画 SCH：スケジュール録画 EMR：

緊急録画 TRM：端子アラームによる録画 COM：コマンドアラームによる録画 CAM：サイトアラーム PRE：イベント・プレ録画 SD：SDメモリーデータ

TEXT：画像に文字情報が付加されている場合は「有」、付加されていない場合は「無」が表示されます。

操作のしかた

画面1

[コントロール] タブの [検索] ボックスにある [サーチ] ボタンをクリックし、録画イベント検索画面を表示します。



STEP2

STEP1

条件を絞り込みます。

● 時間範囲

日時で絞り込みます。[√] ボタンをクリックして、開始日時、終了日時を選択します。

● 録画イベント

録画イベントで絞り込みます。検索したい録画イベントをクリックして選択します。

メモ

- SDメモリーを選択すると、SDメモリー以外の選択は解除されます。

SDメモリー以外のいずれかを選択すると、SDメモリーの選択は解除されます。

● 基準CH

設定した日時がどのカメラCHのタイムゾーンを基準にするのかを設定します。

(国をまたがってカメラを設置している場合など、どのカメラCHの日時を基準にするのか設定する必要があります。本機とカメラが同じタイムゾーンに設置されている場合は、「ー」に設定してください。)

● カメラ

カメラCHで絞り込みます。検索したいカメラCHにチェックを入れます。

● テキスト

テキストの有り／無しで絞り込みます。[√] ボタンをクリックして、「有り」「無し」のどちらかを選択します。「ー」を選択した場合、テキストのあり／なしは条件に含まれません。

STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に **FILTERING** が表示され、絞り込まれた結果が表示されます。

メモ

- 絞り込みを解除するときは、[条件解除] ボタンをクリックすると、すべての録画イベントが表示され、**FILTERING** が消えます。

画面2

[コントロール] タブの下に検索結果（録画イベントリスト画面）が表示されます。



STEP3

再生したい録画イベント日時をクリックします。
→選択した録画イベント日時の画像を再生します。

STEP4

再生を停止するときには、[停止] ボタンをクリックします。

メモ

- SDメモリーデータの再生について
ひとつの録画イベント内に録画された画像の枚数が少ない場合、正常に再生されないことがあります（黒画表示されたり、画像更新までの時間がかかるなど）。その場合は、コマ送り／逆コマ送りで画像を表示してください。
- SDメモリーデータの4画面再生について
4画面で正常に再生できない場合は、1画面で再生を行ってください。

カメラのライブ画像を見る

カメラの画像をライブでウェブブラウザに表示し確認します。

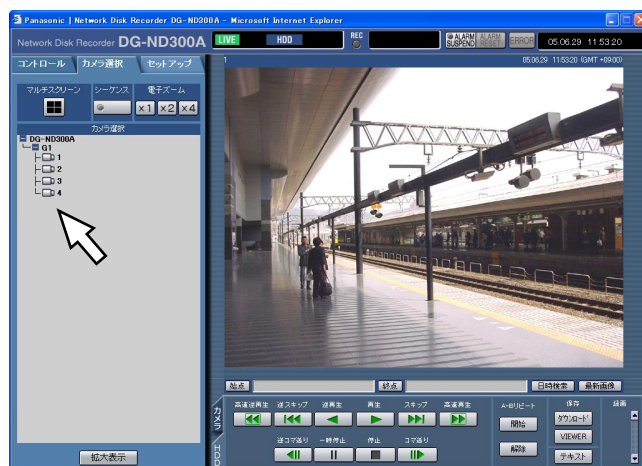
カメラのライブ画像はウェブブラウザに1画面または多画面で表示できます。

また、カメラの画像を自動的に切り換えて表示することもできます（シーケンス表示）。

カメラの画像を1画面で表示する

画面1

[カメラ選択] タブを表示します。



STEP1

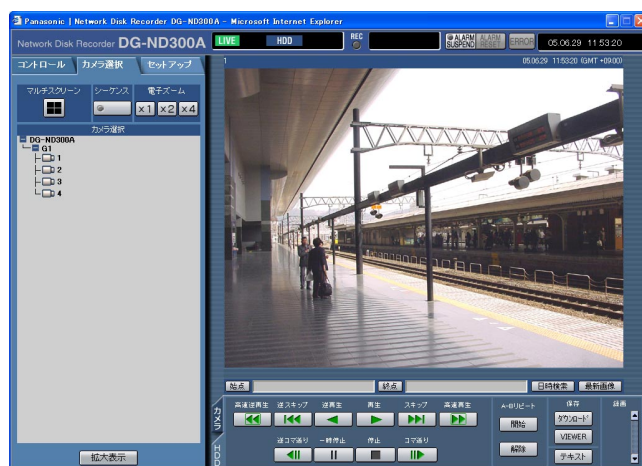
[カメラ選択] ボックスにカメラのリストを表示し、カメラタイトルをクリックします。

メモ

- カメラ選択について
「DG-ND300A」をクリックすると、本機に接続されているカメラのグループタイトルが表示されます。カメラのグループタイトルをクリックすると、そのグループに属するカメラのリストが表示されます。カメラタイトルをクリックすると、選択したカメラCHの画像を表示します。

画面2

選択したカメラCHのライブ画像が表示されます。



メモ

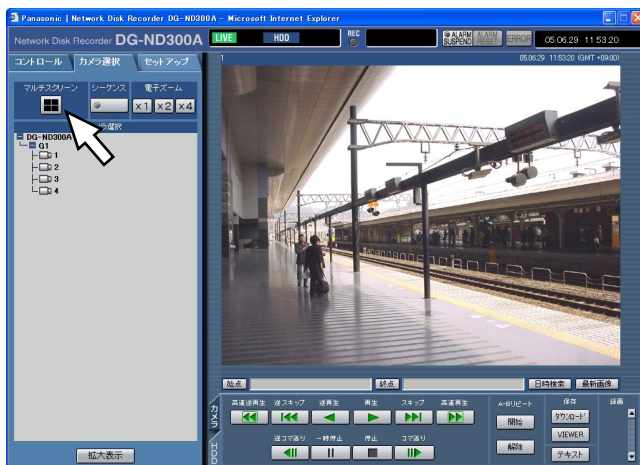
- 電子ズームについて
1画面で表示をしている時、画像をズーム表示することができます。
[電子ズーム] ボックスにあるボタンをクリックして画像をズーム表示します。
[×1] ボタン：電子ズーム1倍で表示します。
[×2] ボタン：電子ズーム2倍で表示します。
[×4] ボタン：電子ズーム4倍で表示します。
ズーム表示中の画像をクリックすると、その位置を中心に移動できます。
- ライブ画像を表示しているときに [最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の画像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラの画像を4画面で表示する

カメラの画像を4画面に分割して表示します。

画面1

[カメラ選択] タブを表示します。



STEP1

[マルチスクリーン] ボックスにあるボタンをクリックします。

画面2

カメラ画像が4分割で表示されます。



STEP2

4台までのカメラの画像を同時に4画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、セットアップメニュー [詳細設定] - [システム] - [基本設定] - [モニター表示設定] の設定内容に従って、カメラ画像を切り換えて4画面表示します。

STEP3

1画面表示に戻すときは、[カメラ選択] タブにあるカメラタイトル、または画像に表示されているカメラタイトルをクリックします。

メモ

- ライブ画像を表示しているときに [最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の画像 (初期設定では最新の30秒前) から再生を開始します。

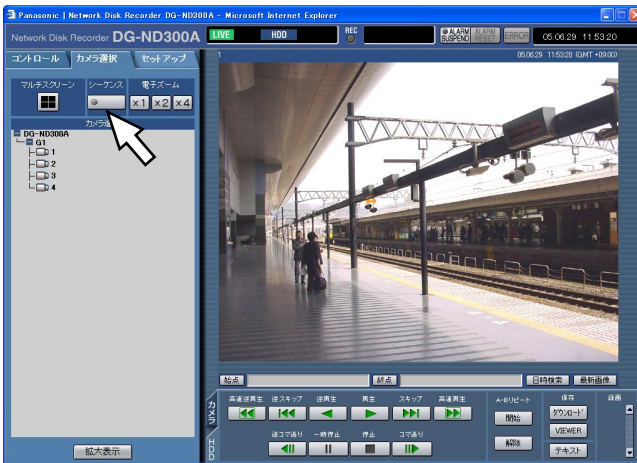
カメラのライブ画像を見る（つづき）

カメラの画像をシーケンス表示する

カメラの画像を自動的に切り換えて表示します。
あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。

画面1

[カメラ選択] タブを表示します。

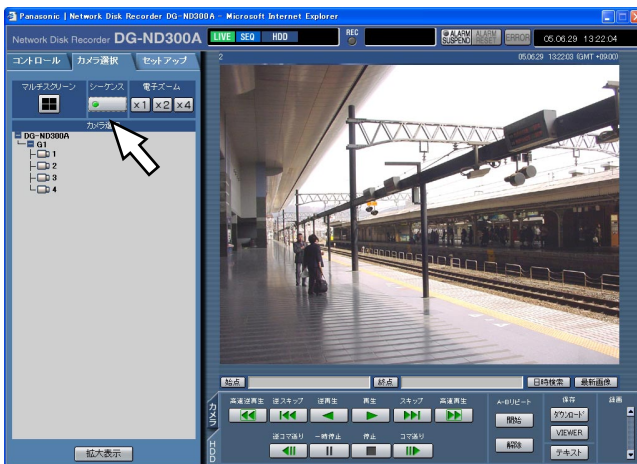


STEP1

[シーケンス] ボックスにあるボタンをクリックします。
→シーケンス動作が開始され、[シーケンス] ボタンのランプが点灯（緑）し、ステータス表示部に「SEQ」が表示されます。

画面2

あらかじめ設定してあるシーケンス動作の設定に従ってライブ画像がシーケンス表示されます。



STEP2

シーケンス動作を停止するときは、再度ボタンをクリックします。シーケンス動作が停止すると、[シーケンス] ボタンのランプが消灯します。
また、シーケンス動作中に1画面表示（22ページ）、4画面表示（23ページ）の操作を行うと、シーケンス動作を停止します。

メモ

- 表示できないシーケンスステップはスキップされます（MPEG-4画像の場合もスキップされます）。
- ライブ画像を表示しているときに[最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の画像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を表示しているとき、以下のカメラ操作を行えます。

- パン／チルト：カメラ画像の水平／垂直位置を調節します。
- ズーム：カメラ画像を拡大／縮小します。
- フォーカス：カメラ画像の焦点を調節します。
- 明るさ：レンズの絞りを調節します。
- プリセット動作：あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。
- オート：カメラで設定されたオート機能を動作させます。

メモ

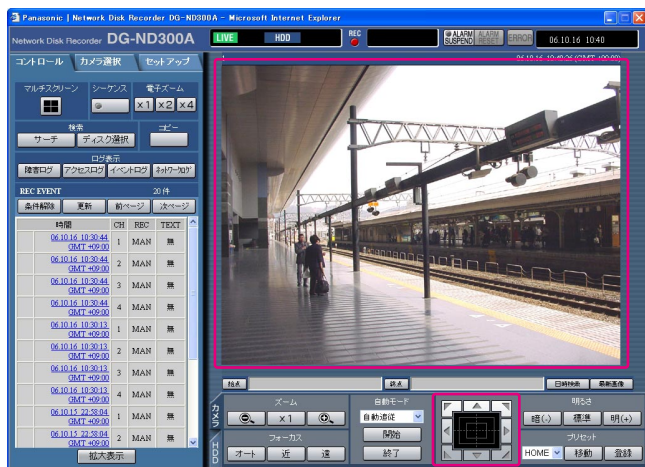
- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。
- カメラの操作はライブ画像を1画面で表示しているときのみ行えます。

パン／チルト操作

カメラ画像の水平／垂直位置を調節します。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP 1

以下のいずれかの方法でカメラの水平位置、垂直位置を調節します。

- コントロールボタン：クリックしてカメラの向きを調節します。
- コントロールパッド：クリックして、カメラの向きを調節します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの速度が速くなります。
- 画面の画像表示部：カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックします。クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。

カメラを操作する（つづき）

ズーム・フォーカス・明るさ操作

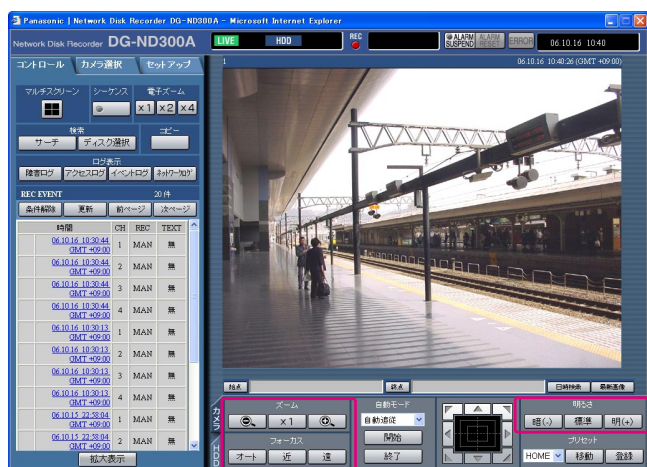
ズーム操作 : カメラ画像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

フォーカス操作 : カメラ画像の焦点を調節します。自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。

明るさ操作 : レンズの絞りを調節します。レンズの絞りをリセットすることもできます。




画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

●ズーム操作

[ズーム] ボックスにある  ボタンまたは  ボタンをクリックして、ズームを調節します。 をクリックすると、ズームをリセットできます。

メモ

●マウスのホイールボタンを回転させて、ズームを調節することもできます。

●フォーカス操作

[フォーカス] ボックスにある [近] ボタンまたは [遠] ボタンを押して、カメラ画像の焦点を調節します。
[オート] ボタンをクリックすると、焦点を自動調節できます。

●明るさ操作

[明るさ] ボックスにある [暗 (-)] ボタンまたは [明 (+)] ボタンを押して、絞りを調節します。
[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定をリセットできます。

カメラの向きをプリセットポジションに登録する

現在のカメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。プリセットポジションの登録は、プリセットポジションの機能に対応しているカメラで使用できます。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

カメラのパン/チルト操作をおこない、カメラを登録したい向きへ移動します。

STEP2

[プリセット] ボックスの [✓] ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号 (1~256) を選択します。HOMEへは登録できません。

STEP2

[登録] ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号に登録されます。

カメラの向きをプリセットポジションへ移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

[プリセット] ボックスの [✓] ボタンをクリックして、移動したいプリセット番号 (HOME、1~256) を選択します。

STEP2

[移動] ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションへカメラの向きが移動します。

カメラを操作する（つづき）

カメラの自動モード機能（オートパンなど）

カメラの自動モード機能を選択して動作させます。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

[自動モード] ボックスにある [✓] ボタンをクリックして、開始したい自動モード（自動追従、オートパン、プリセットシーケンス、ソート、パトロール）を選択します。

STEP2

[自動モード] ボックスにある [開始] ボタンをクリックして、自動モード機能を開始します。
自動モード機能を終了するときは [終了] ボタンをクリックします。

メモ

- カメラの自動モード機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム入力 : ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力されること
- コマンドアラーム受信 : ネットワークを経由してPCからコマンドアラームが送られてくること
- サイトアラーム : ネットワークカメラから独自アラームが送られてくること

イベント発生時の動作

イベントが発生し、本機がイベントを認識すると、設定に従ってイベント動作を行います。

本機では、イベント発生時の動作をアラームモード (ALM)、アクティビティディテクションモード (ADM)、OFFの3種類から選択します。設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。

動作モードについて

●アラームモード (ALM)

イベント発生時に外部への通知と録画を行うモードです。アラームモード時に行われる動作を総称して「アラーム動作」と呼びます。

●アクティビティディテクションモード (ADM)

イベント発生時に外部機器へ通知を行わず、録画およびイベントログの書き込み、プリセット動作のみを行うモードです。

●OFF

イベントログへの記録のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

アラーム動作	アラームモード (ALM)	アクティビティディテクションモード (ADM)	OFF
録画を開始する	○	○	×
画面にアラームメッセージを表示する	○	×	×
アラームランプを点滅する	○	×	×
ブザーを鳴らす	○	×	×
カメラの向きをプリセットポジションに移動する	○	○	×
イベント発生をメールで通知する	○	×	×
本機後面のアラーム端子、アラーム／コントロール端子から信号を出力する (アラーム出力)	○	×	×
イベントログへ記録する	○	○	○
FTPサーバーへ画像を送信する	○	×	×
独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する	○	×	×

メモ

- 録画するカメラ画像がMPEG-4画像の場合、イベント発生の数秒後の画像から録画され、録画時間が短くなる場合があります。

イベント機能について（つづき）

アラーム動作について

●録画を開始する

イベントが発生すると、録画を開始します。録画時間や録画レートなど、セットアップメニュー（☞取扱説明書 設定編（PDFファイル））で設定した内容に従って録画されます。

設定によっては、イベントが発生した時間よりも前のカメラ画像を、発生したイベントと関連づけて録画することもできます（イベント・プレ録画）。

●アラームメッセージを表示する

イベントが発生すると、イベント発生を通知するポップアップ画面を表示します。

●アラームランプを点滅する

イベントが発生すると、本機前面にあるアラームランプが点滅表示します。

●ブザーを鳴らす

イベントが発生すると、セットアップメニュー（☞取扱説明書 設定編（PDFファイル））で設定した時間ブザーを鳴らします。

●カメラの向きをプリセットポジションに移動する

イベントが発生すると、あらかじめ登録しているプリセットポジションへカメラの向きを移動します。プリセットポジションの登録のしかたについてはカメラの取扱説明書をお読みください。

●イベント発生をメールで通知する

イベントが発生すると、イベントの発生とその日時を知らせる電子メール（アラームメール）を登録したメールアドレスに送信して通知します。その際、画像を1枚添付して送信することもできます。ただし、送信するカメラCHに設定されたカメラ画像の圧縮方式がMPEG-4の場合、画像は添付されません。

アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。

イベント発生時にアラームメールを送信するには、あらかじめセットアップメニュー（☞取扱説明書 設定編（PDFファイル））で設定しておく必要があります。

●本機後面のアラーム端子、アラーム／コントロール端子から信号を送出する（アラーム出力）

イベントが発生すると、後面のアラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号の出力時間はセットアップメニュー（☞取扱説明書 設定編（PDFファイル））で設定します。

●イベントログへ記録する

イベントが発生すると、イベントが発生した時間とイベントの種類がイベントログに記録されます。

●イベント発生時、録画画像をFTPサーバーへ送信する

イベントが発生すると、イベント録画を開始した時刻から設定した時間の画像をFTPサーバーへ自動的に送信します。イベント発生時にFTPサーバーへ録画画像を自動送信するには、あらかじめセットアップメニュー（☞取扱説明書 設定編（PDFファイル））で設定しておく必要があります。

●独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する

イベントやエラー発生時、セットアップメニュー [通信] - [独自アラーム通知設定] の設定に従って、発生したイベントやエラー情報をPCに自動的に通知するかどうかをON/OFFで設定します。

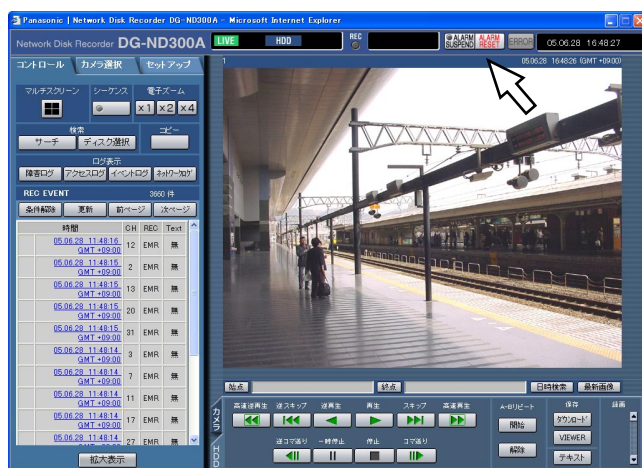
発生したイベントやエラー情報を受信し内容を表示するためには、通知先のPCに専用ソフトウェア（別売り）がインストールされている必要があります。

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。
アラーム動作を手動で解除したいときは、以下の操作を行ってください。

画面1

イベントが発生すると、ステータス表示部に
[ALARM RESET] ボタンが表示されます。



STEP1

[ALARM RESET] ボタンをクリックします。
→アラーム動作が解除されます。

アラーム動作を抑止する

イベントが発生してもアラーム動作を行わないように設定します。設定作業中など、一定期間アラーム動作を行わないようにしたいときに設定します。

ただし、アラーム動作を抑止しても、録画とイベントログへの記録、プリセット動作は行われます。

画面1

操作画面を表示します。



STEP1

[ALARM SUSPEND] ボタンをクリックします。
→アラーム動作が抑止されます。
本機前面のアラーム抑止ランプが点灯します。

STEP2

アラーム抑止を解除する場合は、再度 [ALARM SUSPEND] ボタンをクリックします。
→本機前面のアラーム抑止ランプが消灯します。

コピーする

通常録画領域／イベント録画領域に録画された画像をコピー領域に手でコピーします。
大切なデータはHDDの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。
手動でのコピーは以下の状態のときに行えます。

- ライブ画像の表示中
- 録画画像の再生、再生一時停止中

画面1

[コントロール] タブを表示します。



STEP1

[コントロール] タブの [コピー] ボックスにあるボタンをクリックします。

メモ

- 以下の場合は、コピーを行うことはできません（[コピー] ボックスにあるボタンをクリックすると、ポップアップ画面が表示されます）。
 - ・すでにコピーが行われているとき
 - ・再生画像のダウンロード（41ページ）中
 - ・コピー領域をディスク選択しているとき

画面2

データコピー画面が表示されます。



STEP5

メモ

- コピー中に再度 [コピー] ボックスにあるボタンをクリックすると、コピーキャンセルの画面が表示され、コピーを中断できます。
- コピー画像がMPEG-4画像の場合、指定した開始日時の数秒後からコピーされることがあります。
- 選択したカメラCHおよび時間範囲内のSDメモリーデータもコピー領域にコピーされます。

STEP2

コピーしたいカメラCHをクリックして選択します。
カメラCHは複数選択できます。

STEP3

[V] ボタンをクリックして、コピーの開始日時／終了日時を設定します。

STEP4

設定した日時がどのカメラCHのタイムゾーンを基準にするのかを設定します。

（国をまたがってカメラを設置している場合など、どのカメラCHの日時を基準にするのか設定する必要があります。本機とカメラが同じタイムゾーンに設置されている場合は「—」に設定してください。）

STEP5

[OK] ボタンをクリックします。

→コピーが開始され、ステータス表示部に **COPY** が表示されます。

HDDに記録している画像を手動で消去する

本機の内蔵HDDの通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域に録画されている画像を手動で消去します。日付を設定し、設定した日付の前日までに記録された画像を消去します。

!!重要!!

- 消去した画像は復元することができません。ご注意ください。
- 日数を設定しその日数が経過すると、自動的にHDD内の画像を消去するように設定できます（HDD自動消去）。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- セットアップメニュー [メンテナンス] - 「終端設定」を「STOP」に設定している場合、消去しても残容量は増えません。

画面1

[セットアップ] タブ（詳細設定）の [メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [データ消去] をクリックして、データ消去画面を表示します。



STEP1

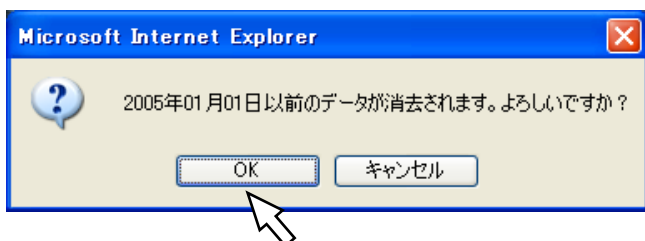
[V] ボタンをクリックして、「通常録画領域手動消去」「イベント録画領域手動消去」「コピー領域手動消去」のいずれかの日付を設定します。ここで設定した日付の前日までに記録された画像が消去対象になります。

STEP2

[消去実行] ボタンをクリックします。

画面2

確認画面がポップアップ表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。
→データ消去を開始します。

文字情報を表示／編集する

画像を録画する際に画像に文字情報（テキスト）を記録することができます。

文字情報は200文字まで入力することができます。

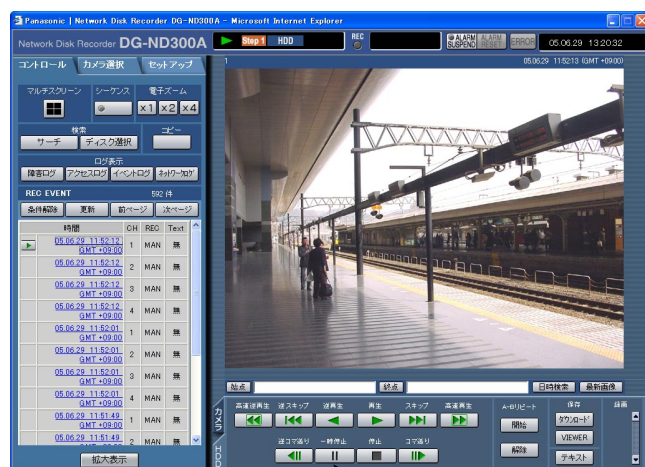
ここでは、画像に付けられている文字情報を表示、編集する方法について説明します。



- 文字情報の表示／編集は、1画面で再生一時停止中に行うことができます。

画面1

録画画像を1画面で再生している画面から操作します。

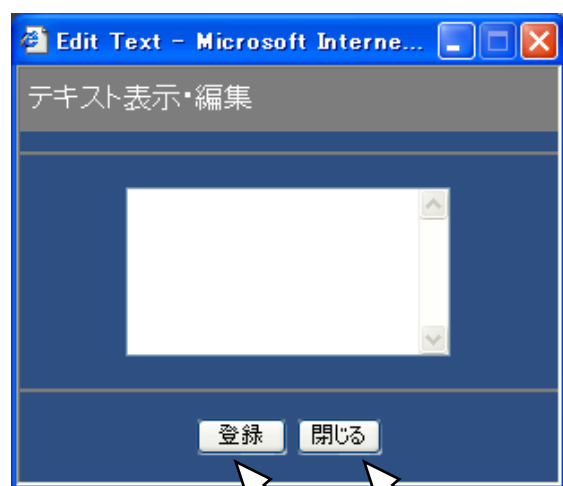


STEP1

STEP2

画面2

テキスト表示・編集画面が表示されます。



STEP5

STEP6

STEP1

[一時停止] ボタンをクリックして再生を一時停止します。

STEP2

[HDD] タブの [テキスト] ボタンをクリックします。

STEP3

再生中の画像に記録されている文字情報が表示されます。

STEP4

文字情報を編集します。入力できる文字数は200文字以内、および10行以内です。

- 使用可能文字について
以下の半角英数字／記号が入力できます。
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ (スペース)
「¥」文字は「\」（バックスラッシュ）で表示されます。

STEP5

[登録] ボタンをクリックします。
→文字情報が登録されます。

STEP6

[閉じる] ボタンをクリックします。
→テキスト表示・編集画面が閉じます。

FTPサーバーにカメラ画像を送信する

本機はカメラの画像をFTPサーバーに送信するよう設定することができます。

FTPサーバーへの送信は、決まった時間に定期的に送信する方法（定期送信）と、イベント発生時にそのイベント発生時のカメラ画像をFTPサーバーに送信する方法（アラーム送信）があります。

定期的にカメラの画像を送信する

FTPサーバーに定期的にカメラの画像を送信するには、あらかじめセットアップメニューで設定をしておく必要があります。

送信先のサーバーのディレクトリや送信間隔、送信するカメラCHなどの設定は、セットアップメニュー（詳細設定）[通信] - [FTP設定] - [定期送信] で行います。

また、定期送信を行うかどうかのON/OFFの設定はセットアップメニュー（詳細設定）[スケジュール] - [タイムテーブル] - [FTP定期送信] で行います。

設定については、取扱説明書 設定編（PDFファイル）をお読みください。

[定期送信] にて設定されたカメラCHのカメラ画像の圧縮方式がMPEG-4の場合は定期送信はされません。

イベント発生時にカメラの画像を送信する

イベント発生時、そのイベント発生時のカメラ画像をFTPサーバーに送信するにはあらかじめセットアップメニューで設定をしておく必要があります。

送信したいサーバー名、送信するプレ録画画像・ポスト録画画像の時間などの設定は、セットアップメニュー（詳細設定）[通信] - [FTP設定] - [アラーム送信] で行います。

また、アラーム送信を行うかどうかのON/OFFの設定はセットアップメニュー（詳細設定）[スケジュール] - [タイムテーブル] - [FTPアラーム送信] で行います。

設定については、取扱説明書 設定編（PDFファイル）をお読みください。

履歴を確認する

以下の履歴を確認できます。

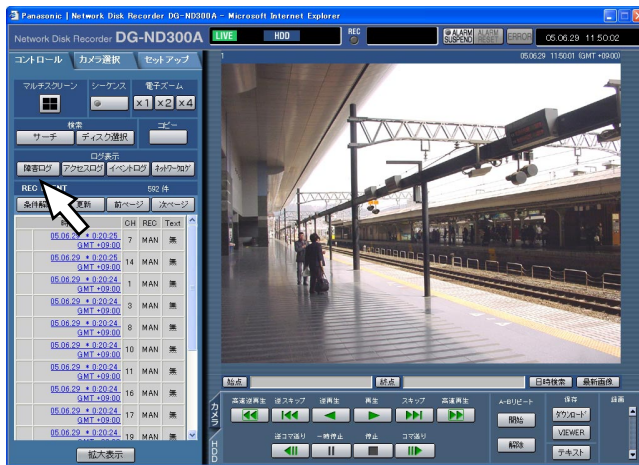
- 障害発生の履歴
- 本機へのアクセス履歴
- イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）
- ネットワークの障害履歴

障害発生の履歴を確認する

本機の障害発生の履歴を一覧で表示します。

画面1

[コントロール] タブを表示します。

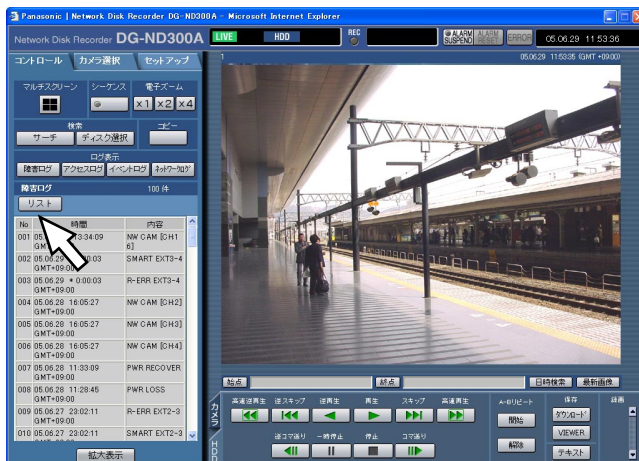


STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [障害ログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下に障害発生の履歴（障害ログ画面）が一覧表示されます。障害ログの内容については53ページをお読みください。



STEP2

障害ログ画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

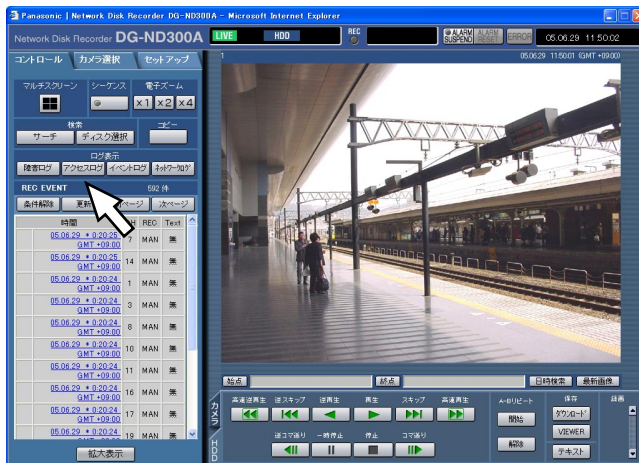
- 障害ログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新ログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常に行われません。

本機へのアクセス履歴を確認する

本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名またはIPアドレスを表示します。

画面1

[コントロール] タブを表示します。

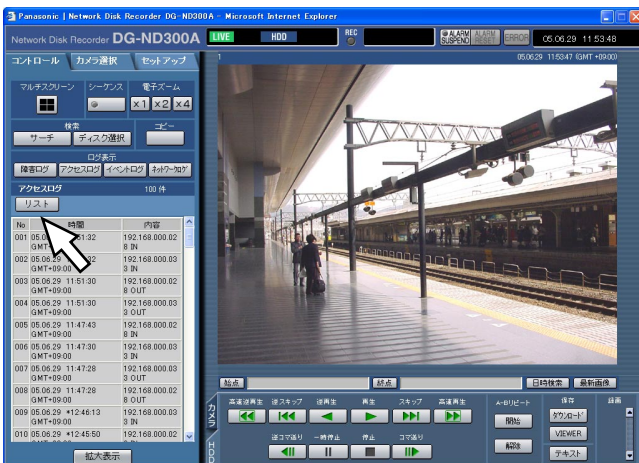


STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [アクセスログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下にアクセスの履歴（アクセスログ画面）が一覧表示されます。



アクセスログの内容について

- **IN : 「IN」の前に記述されているユーザーまたはホストがログイン
- **OUT : 「OUT」の前に記述されているユーザーまたはホストがログアウト
- **にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

STEP2

アクセスログ画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

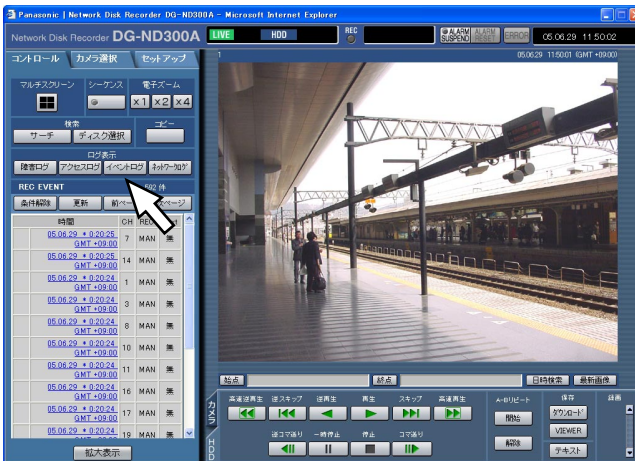
- アクセスログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常に行われません。

イベント発生履歴の確認

イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を一覧で表示します。
各イベント内容の詳細については29ページをお読みください。

画面1

[コントロール] タブを表示します。

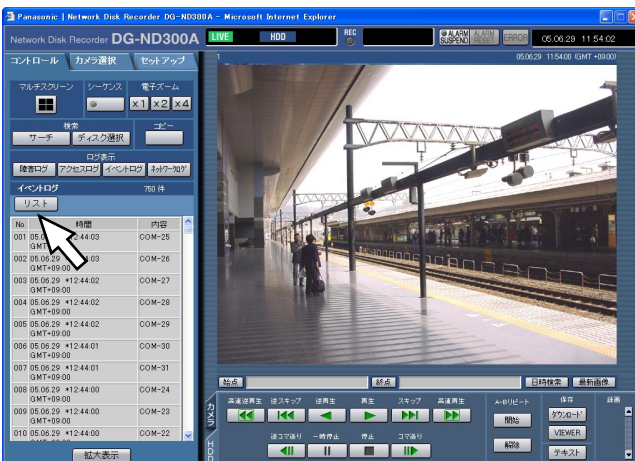


STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [イベントログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下にイベント発生履歴（イベントログ画面）が一覧表示されます。



イベントログの内容について

- COM : コマンドアラーム
- EMR : 緊急録画
- TRM : 端子アラーム
- CAM : サイトアラーム
- SCD : シーン変更アラーム
- EXT : 外部録画

STEP2

「イベントログ」画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

- イベントログは最大750件まで登録されます。750件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常に行われません。

ネットワークの障害履歴を確認する

ネットワークの障害発生履歴（発生日時、障害内容）を一覧で表示します。

画面1

[コントロール] タブを表示します。

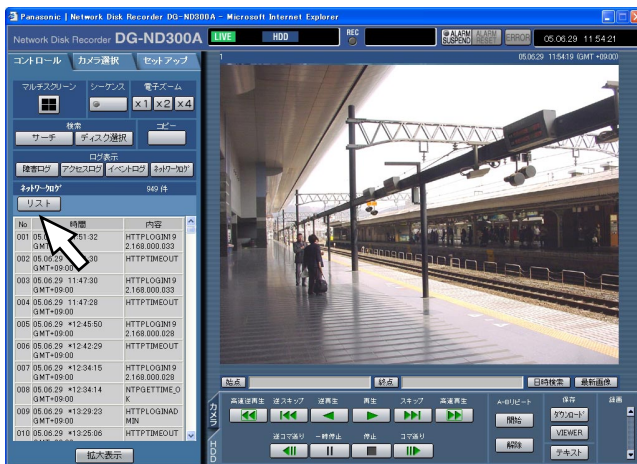


STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [ネットワークログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下にネットワークの障害発生履歴（ネットワークログ画面）が一覧表示されます。ネットワークの障害ログの内容については53ページをお読みください。



STEP2

ネットワークログ画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

- ネットワークログは最大1,000件まで登録されます。1,000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新のネットワークログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。
- ログの表示更新中はライブ画の更新が正常に行われません。

SDメモリーカードの画像を取得する

カメラのSDメモリーカードに録画された画像を取得します。

SDメモリーカードへの録画についての詳細や録画時の録画レートの設定については、取扱説明書 設定編 (PDFファイル) をお読みください。

画面1

接続されているカメラのSDメモリーカードに録画されている画像がある場合、「録画」ボックスにSDメモリーデータ取得ボタン (SDは赤文字) が表示されます。



STEP 1

SDメモリーデータ取得ボタンをクリックします。

!!重要!!

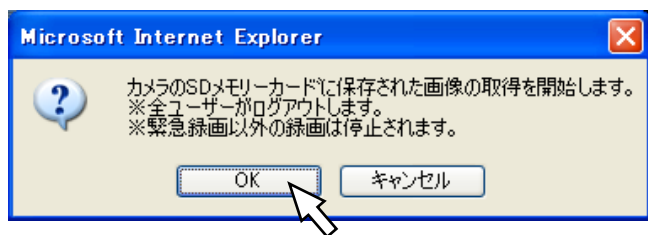
- SDメモリーデータ取得ボタンのクリックはユーザーレベルが「LV1」のユーザーしか行えません。
- 緊急録画中はSDメモリーデータを取得できません。

メモ

- カメラのSDメモリーカードに録画されている画像が無い場合、SDメモリーデータ取得ボタンのSDは青文字になります。
- SDメモリーデータ取得ボタン (SDは青文字) をクリックすると、SDメモリーカードの画像の有無をチェックし、画像があればSDが赤文字に変わります。

画面2

確認画面が表示されます。



STEP 2

[OK] ボタンをクリックします。

!!重要!!

- データの取得が開始されると、すべてのユーザーはログアウトされます。また、すべてのカメラの録画は停止します。

画面3

データの取得中はログイン画面が表示されます。



STEP 3

データの取得を中止したい場合は [ログイン] ボタンをクリックします。

メモ

- データ取得中に緊急録画の入力があると、データの取得を中止して緊急録画を行います。
- SDメモリーデータの取得が終了すると、認証画面またはトップページが表示されます。

再生画像をダウンロードする

再生している画像の開始位置と終了位置を指定して、PCに画像をダウンロードします。

再生画像をダウンロードすると、画像データファイル（ファイル名.n3r）としてダウンロードされます。ダウンロードした画像の再生方法については43ページをお読みください。

!!重要!!

- ダウンロードするときは、PCのHDDにダウンロードするファイルサイズの2倍以上の空き容量*が必要となります。 ※Microsoft® Internet Explorer の制限事項です。
- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。

画面1

[HDD] タブを表示します。



STEP3

STEP1

ダウンロードを開始したい画像の再生日時を再生位置操作部の [始点] ボックスに入力します。または、ダウンロードを開始したい再生位置で [始点] ボタンをクリックします。
→再生位置操作部に設定した始点の日時が表示されます。

STEP2

ダウンロードを終了したい画像の再生日時を再生位置操作部の [終点] ボックスに入力します。または、ダウンロードを終了したい再生位置で [終点] ボタンをクリックします。
→再生位置操作部に設定した終点の日時が表示されます。一度にダウンロードできる時間は最大20分です。

STEP3

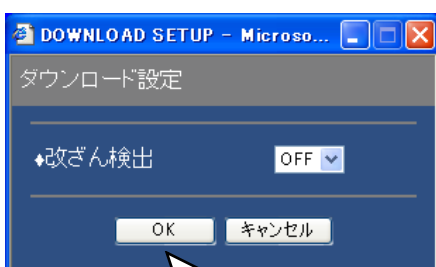
[ダウンロード] ボタンをクリックします。

メモ

- ダウンロードする画像がMPEG-4画像の場合、指定した始点日時の数秒前から終点日時の数秒後までダウンロードされる場合があります。

画面2

ダウンロード設定画面が表示されます。



STEP4

ダウンロードするデータに改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかをON/OFFで選択し、[OK] ボタンをクリックします。

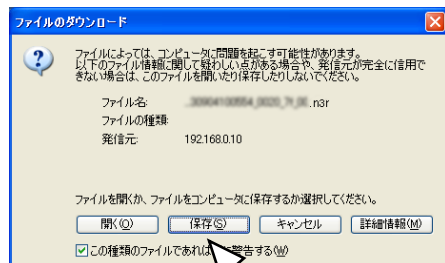
メモ

- 改ざん検出のためのデータを付けると、ダウンロード時間が長くなります。

再生画像をダウンロードする（つづき）

画面3

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

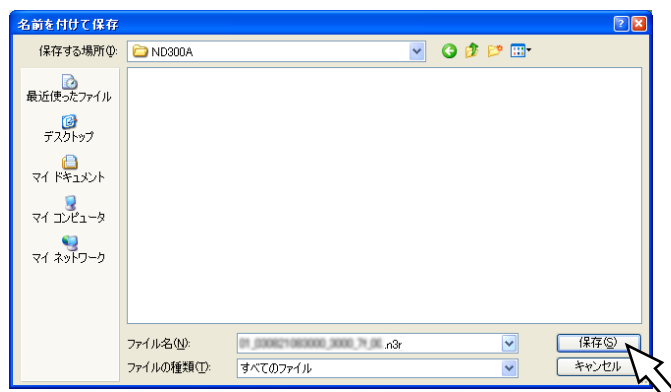


STEP5

[保存] ボタンをクリックします。

画面4

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP6

任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。

→画像データ（ファイル名.n3r）がダウンロードされます。

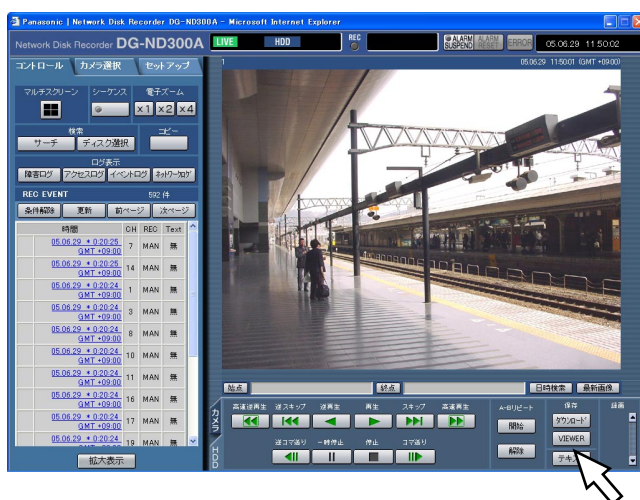
ダウンロードした画像を操作する

再生画像をダウンロードすると、画像データ（ファイル名.n3r）がダウンロードされます。ダウンロードした画像データは本機からダウンロード可能なビューワソフトを使って、再生、保存、印刷ができます。

本機からビューワソフトをダウンロードする

画面1

[HDD] タブを表示します。

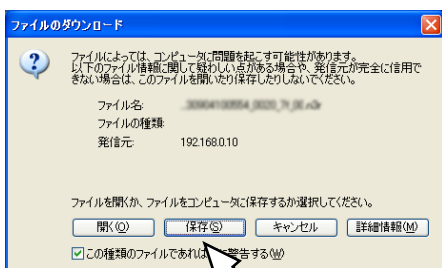


STEP1

[保存] ボックスにある [VIEWER] ボタンをクリックします。

画面2

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

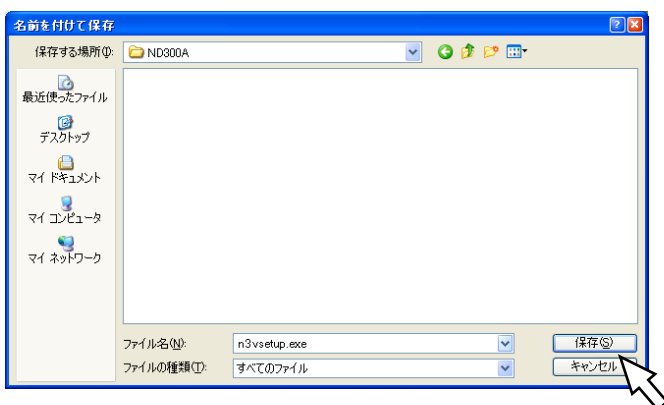


STEP2

[保存] ボタンをクリックします。

画面3

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP3

任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。

→ビューワソフトがダウンロードされます。

ビューワーソフトをインストールする

STEP1

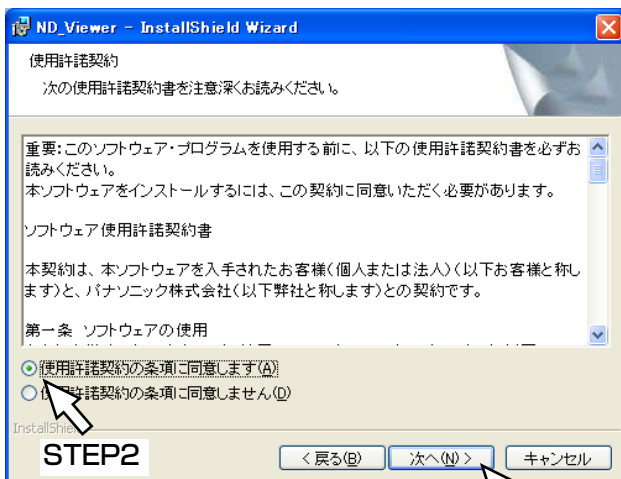
ダウンロードしたn3vsetup.exeファイルをダブルクリックします。

メモ

- 旧バージョンのビューワーソフトがインストールされている場合はインストールに失敗することがありますので、アンインストールしてから新バージョンのインストールを行ってください。

画面1

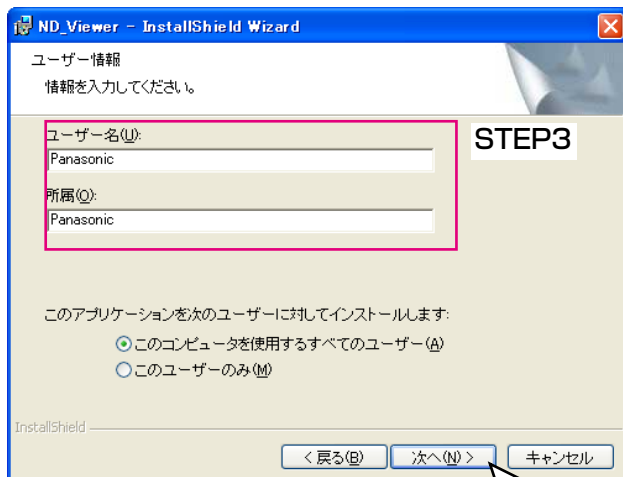
使用許諾画面が表示されます。



STEP2

画面2

ユーザー情報の入力画面が表示されます。



STEP3

STEP2

[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

STEP3

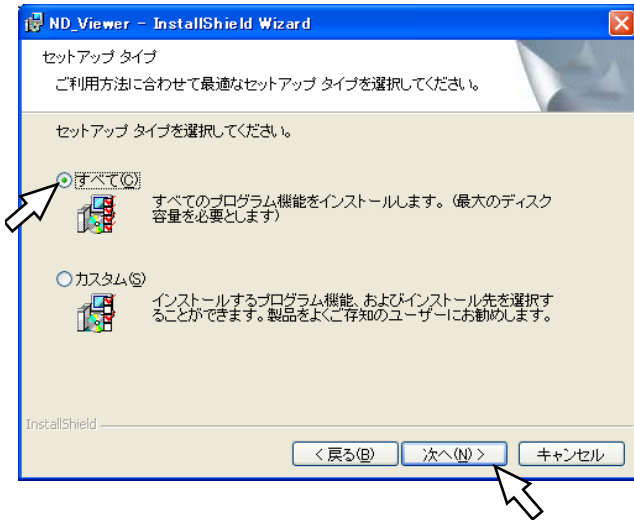
ユーザー情報入力画面でユーザー情報を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

メモ

- ユーザー情報は空欄のままでもかまいません。

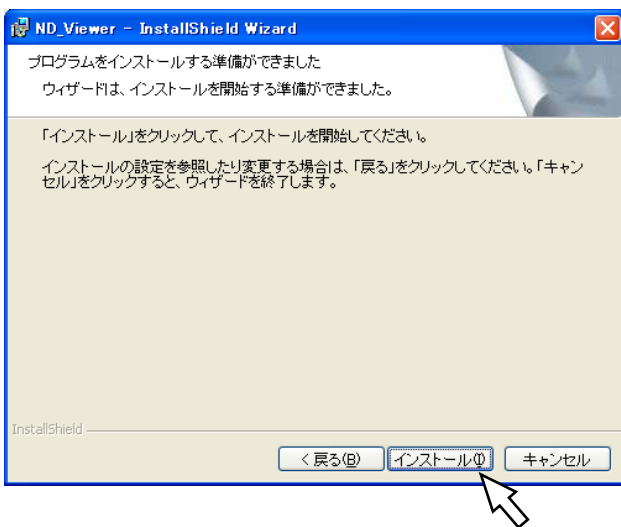
画面3

セットアップタイプを選択する画面が表示されます。



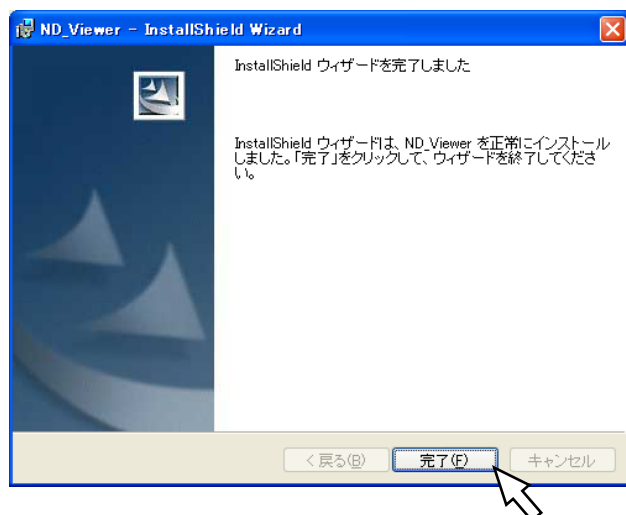
画面4

インストール開始の画面が表示されます。



画面5

インストールが終了すると、インストール完了の画面が表示されます。



STEP4

[すべて] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

STEP5

[インストール] ボタンをクリックします。

STEP6

[完了] ボタンをクリックします。

→ビューワーソフトのインストールが完了します。

ダウンロードした画像を操作する（つづき）

ビューワーソフトをアンインストールする

Windows XPの場合

- 1 コントロールパネルの [プログラムの追加と削除] を実行します。
- 2 現在インストールされているプログラムから「ND Viewer」を選択し、[削除] ボタンをクリックします。
→アンインストールプログラムが起動します。
- 3 画面の指示に従ってアンインストールを行います。

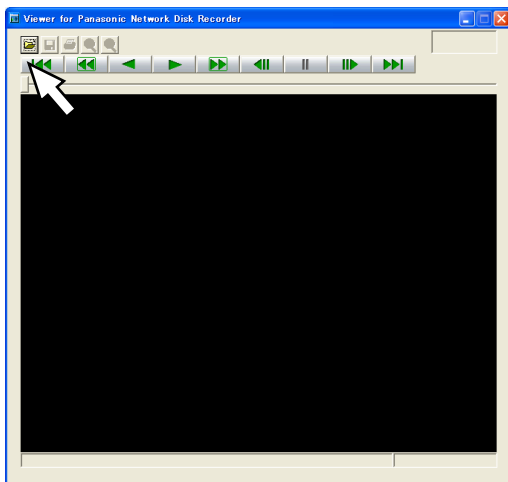
画像を再生する

メモ

- ビューワーソフトのバージョンによっては、画像を正しく再生できない場合があります。その場合は、本機からビューワーソフトをダウンロードし、44ページに記載されている手順に従って再度インストールしてください。ビューワーソフトの対応バージョンについては、付属のCD-ROMの「readme.txt」をお読みください。

画面1

ビューワーソフトを起動し、以下の画面を表示します。

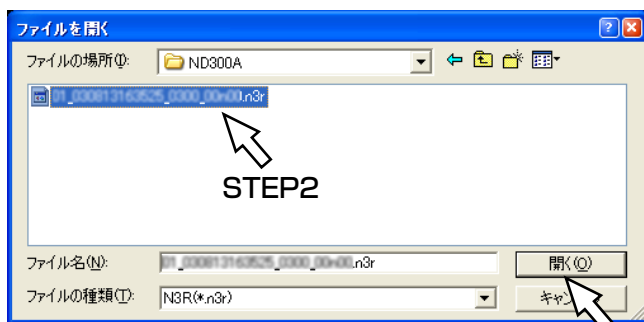


STEP1

[ファイルを開く] ボタンをクリックします。

画面2

ファイルを開く画面が表示されます。



STEP2

ダウンロードした画像データ（ファイル名.n3r）を選択します。

メモ

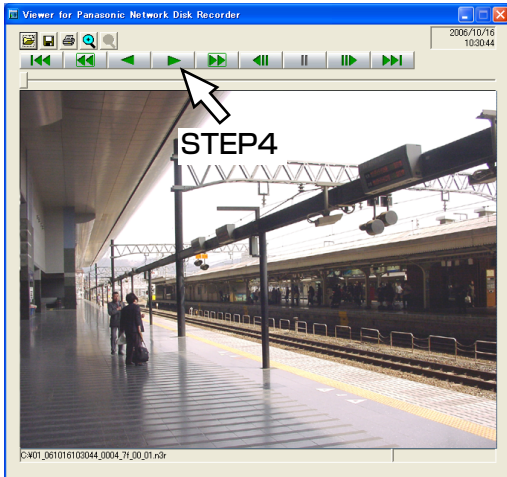
- キーボードの [Ctrl] キーや [Shift] キーを押しながらファイルを選択すると、複数のファイルを選択することができます（最大32ファイル）。

STEP3

[開く] ボタンをクリックします。

画面3

画像が表示されます。



STEP4

再生ボタンをクリックします。

メモ

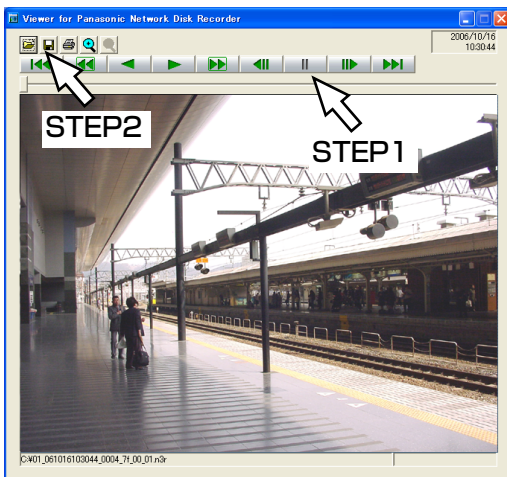
- 再生画像の終端では、黒画一時停止状態になります。
- 複数のファイルが選択されている場合、[次のファイル] ボタン / [前のファイル] ボタンで再生画像を切り換えることができます。
- [拡大] ボタンをクリックすると、画像を2倍に拡大して表示することができます。
- PCの性能が低い場合、なめらかに再生されないことがあります。

画像を保存する

表示している画像をPCにjpegファイルとして保存します。保存はビューワソフトで再生一時停止中に行います。

画面1

ビューワソフトで再生を行っている画面から操作します。



STEP1

再生一時停止ボタンをクリックします。

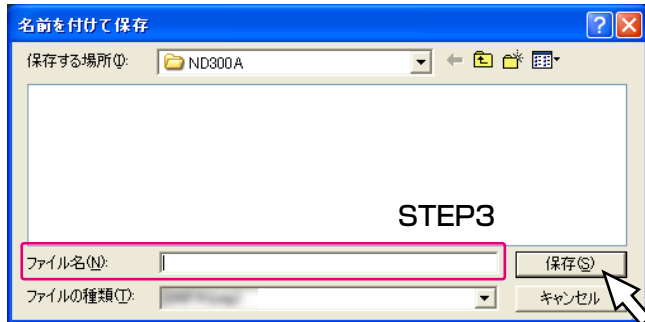
STEP2

保存ボタンをクリックします。

ダウンロードした画像を操作する（つづき）

画面2

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP3

ファイル名を入力し、ファイルの種類：JPG（*.jpg）を選択します。

STEP4

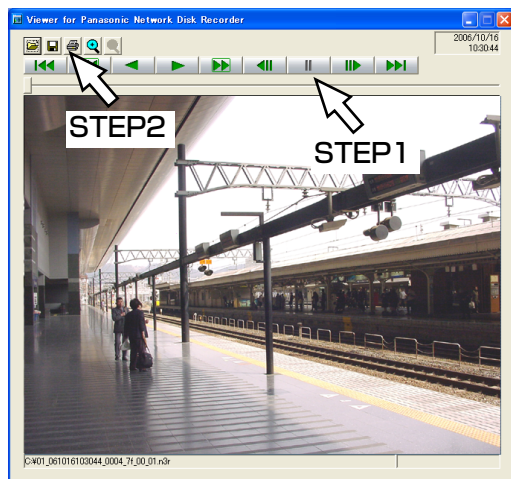
保存先を確認し、[保存] ボタンをクリックします。
→画像データが保存されます。

画像を印刷する

ビューワソフトで再生一時停止中に、表示している画像をプリンターで印刷します。

画面1

ビューワソフトで再生を行っている画面から操作します。



STEP1

再生一時停止ボタンをクリックします。

STEP2

印刷ボタンをクリックします。

メモ

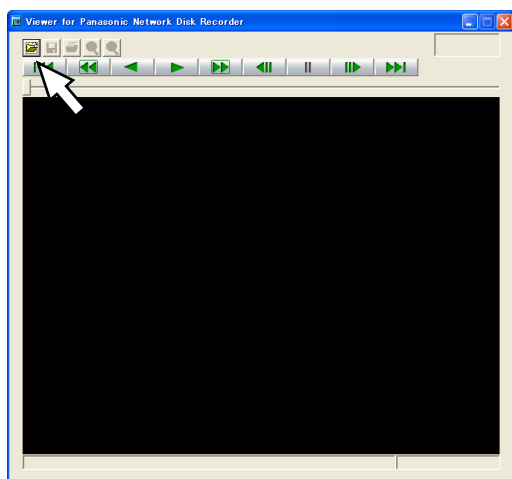
- n3rファイルの画像を印刷すると、再生一時停止の日時も印刷されます。

改ざん検出を行う

ダウンロード時に改ざん検出用のデータを付けるよう設定されているデータの改ざん検出を行います。改ざん検出用のデータを付ける操作方法については41ページをお読みください。

画面1

ビューワーソフトを起動し、以下の画面を表示します。

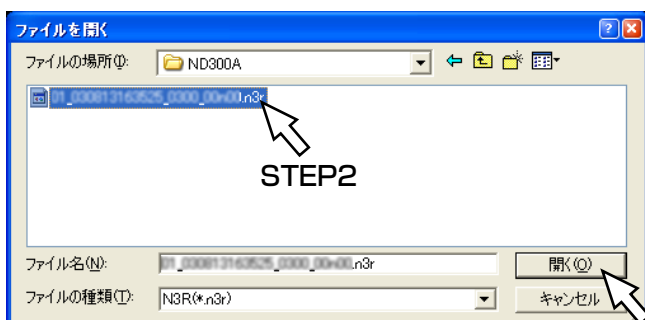


STEP1

[ファイルを開く] ボタンをクリックします。

画面2

ファイルを開く画面が表示されます。



STEP2

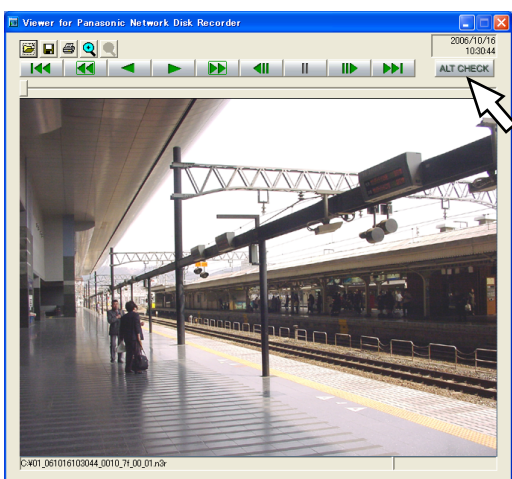
ダウンロードした画像データ（ファイル名.n3r）を選択します。

STEP3

[開く] ボタンをクリックします。

画面3

画像が表示され、データの先頭画像が一時停止して表示されます。



STEP4

[ALT CHECK] ボタンをクリックします。

→改ざん検出が開始されます。

改ざん検出開始後に以下のメッセージがポップアップ表示されます。

OK(Not Altered) : 改ざんが検出されませんでした。

NG(Altered) : 改ざんが検出されました。

メモ

- [ALT CHECK] ボタンは改ざん検出が可能な画像データを開いているときのみ表示されます。

メール通知について

アラームメールについて

アラームメールには以下のように本機内に保存されたアラーム画像へのリンクアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：

ND300A (192.168.1.250) でアラームが発生しました。
発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMTxx:xx (例2005-1-1 12:00:00 GMT+09:00)
アラーム要因：アラーム内容とカメラCHまたはアラーム番号を表示 (例：COMMAND ALARM 5CH)
アラーム画像ファイル名：電子メールに添付されているファイル名
URL：http://192.168.1.250/

アラームメールの内容をカスタマイズする

イベントの発生とその日時をお知らせするアラームメールの内容はカスタマイズすることができます。以下の手順で操作してください。

STEP1

メール本文をテキストエディタで作成し、テキスト形式で保存します。
表示させたい項目（イベント発生日時やアラーム要因、ホストアドレスなど）によって、入力する文字が異なります。メール内容を作成する際、次ページの置換文字一覧を参考にしてください。ファイル名は「almmail.tpl」にして保存します。

STEP2

FTPソフトを起動し、本機のIPアドレスを入力して本機に接続します。
ユーザー名、パスワードは以下のように設定します。
ユーザー名：管理者ユーザー名（初期値：ADMIN）
パスワード：管理者パスワード（初期値：12345）
ユーザー名、パスワードの設定についてはシステムの管理者にご確認ください。

STEP3

作成したファイル（almmail.tpl）をテキスト形式で転送します。
転送先は、/data/HTML_FILESです。

メモ

- 電子メールに画像ファイルを添付するには、あらかじめ設定が必要です。設定については、取扱説明書 設定編 (PDFファイル) をお読みください。

置換文字一覧

表示させたい項目	入力文字	表示形式／表示例
アラーム発生年（4桁）	%#05000000	西暦4桁表示（2005～2035）
アラーム発生月（数字）	%#05000100	最大2桁表示（1～12）
アラーム発生月（文字）	%#05000200	英語の頭3文字表示（Jan、Feb、.....Dec）
アラーム発生日	%#05000300	最大2桁表示（1～31）
アラーム発生時間	%#05000400	24時間表示（15：00：00 GMT xx:xx）
送信者メールアドレス	%#05000500	
ND300Aのホスト名	%#05000600	
ND300AのIPアドレス	%#05000700	192.168.1.250
アラーム要因	%#05000800	端子：TERMINAL ALARM コマンド：COMMAND ALARM 緊急録画：EMERGENCY サイト：SITE ALARM シーン変更：SCD ALARM
アラーム番号	%#05000900	最大数字2桁（1～32） + CH
アラーム画像ファイル名	%#05001000	xx_ALMyyyyynnddhmmss.jpg ファイルが存在しない場合は空白 xx：カメラCH番号 yyyynndd：イベント発生日付 hhmmss：イベント発生時、分、秒
URL	%#05001100	ホスト名.ドメイン名：HTTPポート番号/ <ul style="list-style-type: none"> ●ホスト名、ドメイン名が設定されているときで DDNSでホスト名、ドメイン名が正常に取得できているとき（DDNS ON時） IPアドレス：HTTPポート番号/ <ul style="list-style-type: none"> ●ホスト名、ドメイン名が設定されていないとき（DDNS OFF時） ●DDNSでホスト名、ドメイン名が正常に取得できていないとき（DDNS ON時） ただし、HTTPポート番号が80に設定されているときは「：HTTPポート番号」が省略されます。

障害メールについて

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール（障害メール）を送信し、障害発生を通知します。

ND300A(192.168.0.250) 状態通知 日時：2005-1-1 12:00:00 GMT+9:00 状態：障害の内容を表示（例：THERMAL ERROR）

表示	説明
日時	障害が発生した日時をあらわします。
状態	以下の障害の内容をあらわします。
HDD残容量警告 ^{*1}	: <FULL以外> EVENT-HDD CAPACITY REMAINS **% COPY-HDD CAPACITY REMAINS **% **は残容量(%) <FULL時> EVENT-HDD FULL COPY-HDD FULL
停電検出	: POWER LOSS
停電復旧	: POWER RECOVERED
NWカメラ障害検出	: CAM** COMMUNICATION ERROR **はカメラCH
NWカメラ障害復旧	: CAM** COMMUNICATION RECOVERED **はカメラCH
HDDスマート警告 ^{*2}	: HDDx-y DISK WARNING x-yはディスク番号（通し番号）
HDDアワーメーター警告 自動リンク外し	: HDDx-y HOUR METER WARNING : HDDx-y LOGICALLY REMOVED x-yはディスク番号（通し番号）
RAID5復旧失敗	: HDDx RAID5 RECOVERY FAILURE xはユニット番号
ファン異常	: FAN ERROR x-y xはユニット番号 yはファン番号
温度異常	: THERMAL ERROR x-y xはユニット番号 yはセンサー番号
NWリンク外れエラー	: PORTx NETWORK LINK ERROR xはネットワークポート番号
RAID1 ダウン	: HDDx-y RAID5 1DOWN x-yはディスク番号（通し番号）
RAID2 ダウン	: HDDx RAID5 2DOWN xはユニット番号（通し番号）
DHCP IP アドレスロスト	: PORTx DHCP ERROR xはネットワークポート番号
ビデオロス障害検出	: CAMxx VIDEO LOSS xxはカメラCH
ビデオロス障害復旧	: CAMxx VIDEO RECOVERED xxはカメラCH

※1 HDD残容量警告について

残容量がセットアップ「メンテナンス」の「残容量警告」で設定した値に達したら、<FULL以外>の内容で障害メールを送信します。以降、残容量が1%減少するたびに、<FULL以外>の内容で障害メールを送信し、残容量がなくなったら、<FULL時>の内容で障害メールを1回送信します。

※2 RAID5モードで運用している場合は送信されません。

障害履歴について

ここでは、障害発生の履歴（障害ログ）とネットワークの障害履歴（ネットワークログ）の内容について説明します。

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
停電検出	PWR LOSS	—	SYS-1 ERR システム電源切れ	—
停電復旧	PWR RECOVER	—	—	—
FAN警告	FAN u-f	—	FAN-1-u-f ERR ファンケイワ	異常出力
温度異常警告	THERMAL u-1	—	TML-1-u-1 ERR ホドケイワ	異常出力
増設モード設定異常	—	—	SYS-2 SINGLE RAID コガイレ	—
HDDライトエラー	W-ERR u-d	—	—	—
HDDリードエラー	R-ERR u-d	—	—	—
RAID 1ダウン	HDu-d 1DOWN	—	HDD-10 ERR RAID5 1ダウ	HDD異常出力
RAID 2ダウン	HDu 2DOWN	—	—	HDD異常出力
ディスク構成変更	—	—	ディスクコンフィグメニュー デセッテイヨシテガサイ	—
HDD S.M.A.R.T.警告 ※1	SMART u-d	—	HDD-1-u-d ERR HDDケイワ	HDD異常出力
HDDアワーメーター 警告	H.METER u-d	—	HDD-2-u-d ERR HDDアワーメーターケイワ	HDD異常出力
ボリュームエラー	V-ERROR vvv	—	—	HDD異常出力
HDD SKIP警告※2	SKIP HDD u-d	—	—	HDD異常出力
HDD自動リンク外し	REMOVE u-d	—	HDD-3-u-d ERR HDD REMOVE イラ	HDD異常出力
HDD RAID5復旧中の HDDエラー	HD u-d RCVR- ERR e	—	—	—
HDD RAID5復旧失敗	R-FAIL u	—	HDD-4-u ERR RAID5 フッキウ イラ	HDD異常出力
EVENT領域残容量警告	EVT-***%	—	—	コピー/イベント録 画領域残容量警告出力
EVENT領域残容量警告 (FULL)	EVT-FULL	—	HDD-5 ERR イベント HDD FULL	コピー/イベント録 画領域残容量警告出力
COPY領域残容量警告	CPY-***%	—	—	コピー/イベント録 画領域残容量警告出力
COPY領域残容量警告 (FULL)	CPY-FULL	—	HDD-6 ERR コピ - HDD FULL	コピー/イベント録 画領域残容量警告出力
コピーエラー	NO DATA CPY	—	—	—
RAIDボード初期化失敗	—	—	HDD-9 ERR RAID ヨキカ イラ	—
ネットワークリンク外れ	—	LINK_ERR_0p	NET-1-p ERR NW リンクエラー	ネットワーク異常 出力
ネットワークカメラ 障害検出	CAM cc ERR	—	NET-3-0 ERR	カメラ異常出力
ビデオロス障害検出 ※3	CAM cc VIDEO LOSS	—	NET-3-0 ERR	カメラ異常出力
ビデオロス障害復旧 ※3	CAM cc VIDEO RECOVERED	—	カメラ cc イラ	—

※1 RAID5モードで運用している場合は、障害ログのみ表示され、液晶表示、後面端子への出力はされません。

※2 HDD SKIPとは、HDD書き込みなどのエラーが発生したときに次のHDDに移動し録画を継続する機能

※3 ビデオロスとは、DG-NT304/DG-NT314と接続されているカメラ間の障害です。本機がこのビデオロス障害を受信するためには、DG-NT304/DG-NT314のアラーム独自通知設定と本機のサイトアラーム有効設定が必要です。

障害履歴について（つづき）

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
ネットワークカメラ 障害復旧	CAM cc RECOVER	—	—	—
電子メール送信成功	—	SMTPMAIL-SEND	—	—
電子メール認証エラー	—	SMTPATTEST_ERR	—	ネットワーク異常 出力
DNSからPOP3サーバー アドレス解決できず	—	SMTPPOP3ADD_ERR	—	ネットワーク異常 出力
POP3サーバー見つからず	—	SMTPPOP3SVR_ERR	—	ネットワーク異常 出力
DNSからSMTPサーバー アドレス解決できず	—	SMTPSVRADD_ERR	—	ネットワーク異常 出力
SMTPサーバー見つからず	—	SMTPSVR_ERR	—	ネットワーク異常 出力
MAIL FROM コマンドエラー	—	SMTPMAILFROM_ERR	—	ネットワーク異常 出力
RCPT TO コマンドエラー	—	SMTPRCPTTO_ERR	—	ネットワーク異常 出力
SMTP その他のエラー	—	SMTPOTHER SMTP	—	ネットワーク異常 出力
FTPクライアント 送信成功	—	FTPCLIENT_OK	—	—
FTPサーバー転送成功	—	FTPSVRFWD_OK	—	—
DNSからFTPサーバー アドレス解決できず	—	FTPSVRADD_ERR	—	ネットワーク異常 出力
FTPサーバー見つからず	—	FTPSVR_ERR	—	ネットワーク異常 出力
FTPアップロード 転送エラー	—	FTPUPLOAD_ERR	—	ネットワーク異常 出力
FTP Passiveモード でのエラー	—	FTPPASSIVE_ERR	—	ネットワーク異常 出力
FTP ログイン失敗	—	FTPLOGIN_FAULT	—	ネットワーク異常 出力
FTP ログアウト失敗	—	FTPLOGOUT_FAULT	—	ネットワーク異常 出力
FTP その他エラー	—	FTPOTHER	—	ネットワーク異常 出力
DDNS IPアドレス アップデート	—	DDNSIPADDUPDATE_OK	—	—
DDNSサーバー応答なし	—	DDNSSVRRES_ERR	—	ネットワーク異常 出力
DDNSユーザー名 パスワードエラー	—	DDNSUSERPASS_ERR	—	ネットワーク異常 出力
DDNS IPアドレス アップデートエラー	—	DNSIPADDUPDATE_ERR	—	ネットワーク異常 出力
DNSその他エラー	—	DNSOTHER	—	ネットワーク異常 出力

障害の内容	障害ログ	ネットワークログ	液晶表示	後面端子出力名
NTPサーバーの時刻への同期成功	—	NTPGETTIME_OK	—	—
DNSからNTPサーバーアドレス解決できず	—	NTPSVRADD_ERR	—	ネットワーク異常出力
時刻設定失敗	—	NTPSETTIME_ERR	—	ネットワーク異常出力
NTPサーバー応答なし	—	NTPSVRRES_ERR	—	ネットワーク異常出力
NTPサーバーの時刻無効	—	NTPTIME_INVALID	—	ネットワーク異常出力
NTPその他のエラー	—	NTPOTHER	—	ネットワーク異常出力
SNMP送信成功	—	SNMPSEND_OK	—	—
SNMPユーザー名パスワードエラー	—	SNMPUSERPASS_ERR	—	ネットワーク異常出力
SNMPオブジェクト取得失敗	—	SNMPOBJ_ERR	—	ネットワーク異常出力
SNMPその他のエラー	—	SNMPOTHER	—	ネットワーク異常出力
DHCP IPアドレス取得	—	DHCP_IPADD_OK	—	—
DHCP ロスト	—	DHCP_IPADD_LOST	—	ネットワーク異常出力
DHCP IPアドレスアップデート失敗 xx%	—	DHCP_IPADDUPDATE_ERR	—	ネットワーク異常出力
DHCP IPアドレス登録失敗	—	DHCP_IPADDENT_ERR	—	ネットワーク異常出力
DHCP その他のエラー	—	DHCP_OTHER	—	ネットワーク異常出力
HTTP ログイン	—	HTTPLOGIN	—	—
HTTP ユーザー名パスワードエラー	—	HTTPUSERPASS_ERR	—	ネットワーク異常出力
HTTP ダウンロード失敗	—	HTTPDOWNLOAD_ERR	—	ネットワーク異常出力
HTTP 要求無効	—	HTTPDREQUEST_ERR	—	ネットワーク異常出力
HTTP その他のエラー	—	HTTPOTHER	—	ネットワーク異常出力
コンフィグに遷移	—	CONFIG_LOGIN	コンフィグ 移行	—
カメラSDメモリーカードエラー	CAM cc SD ERR	—	NET_5-0 ERR カメラ SD I/O	カメラ異常出力
カメラSD書き込み開始要求失敗	CAM cc SD START ERR	—	NET_5-0 ERR カメラ SD I/O	カメラ異常出力
カメラSD書き込み終了要求失敗	CAM cc SD END ERR	—	NET_5-0 ERR カメラ SD I/O	カメラ異常出力
カメラSDリスト要求失敗	CAM cc GET LIST ERR	—	NET_5-0 ERR カメラ SD I/O	カメラ異常出力
カメラSD画像要求失敗	CAM cc GET IMG ERR	—	NET_5-0 ERR カメラ SD I/O	カメラ異常出力
カメラSD画像削除要求失敗	CAM cc DEL IMG ERR	—	NET_5-0 ERR カメラ SD I/O	カメラ異常出力

上記表中の記号の意味については57ページをお読みください。

エラー動作について

本機の主なエラー動作および対処方法を記してあります。記載以外のエラーについては、販売店にご連絡ください。

障害ログ表示	液晶表示	エラーの内容・現象	対処方法
W-ERR u-d R-ERR u-d SKIP u-d		HDDへのデータ書込みに失敗または読み込みに失敗しました。HDDが故障している可能性があります。	頻繁に発生するときは販売店にご連絡いただき、HDDを交換してください。※
HDu-d 1DOWN HDu 2DOWN	HDD-10 ERR RAID5 1ダウ	RAIDモード運用中のHDDが故障しています。	販売店にご連絡ください。故障したHDDを交換または復旧後、エラー状態は解除されます。
	ディスクコンフィグメニュー ディスクフォーマット	ディスクの構成変更などにより運用できない状態です。	コンフィグ画面を表示して、HDDを初期化するか、HDDを交換してください。
SMART u-d	HDD-1-u-d ERR HDDケイウ	HDDが故障し使用できなくなる可能性があります。	販売店にご連絡いただき、HDDを交換してください。※
H.METER u-d	HDD-2-u-d ERR HDDアワーメーターケイウ	アワーメーターで設定した時間が経過しました。HDDの寿命が近づいている可能性があります。	販売店にご連絡いただき、HDDを交換してください。※
V-ERROR vvv		各録画領域がREMOVEなどによって消失しています。	販売店にご連絡ください。故障したHDDの交換後※、エラーは解除されます。
REMOVE u-d	HDD-3-u-d ERR HDD REMOVE イー	HDDが自動的に運用から切り離されています。	販売店にご連絡ください。故障したHDDの交換後※、エラーは解除されます。
EVT-**% または EVT-FULL	HDD-5 ERR イベント HDD FULL	HDDの残容量が少ない、または、残容量がありません。	HDDを初期化するか、交換してください。※
CPY-**% または CPY-FULL	HDD-6 ERR 北° - HDD FULL		
CAM cc ERR	NET-3-0 ERR カメラ cc イー	ネットワークカメラとの通信が不安定またはネットワークカメラが接続されていません。	ネットワークカメラとの通信状態を確認してください。
LINK_ERR_Op	NET - 1 - p ERR NW リンクエラー	ネットワークが切断されています。	ネットワーク接続を確認してください。
CAM cc SD ERR	NET_5-0 ERR カメラ cc SD イー または 表示なし	カメラのSDメモリーカードの異常です。 SDメモリーカードが検出できていないか、SDメモリーカードの残容量がありません。	カメラ側の設定やSDメモリーカードを確認してください。
CAM cc SD START ERR CAM cc SD END ERR	NET_5-0 ERR カメラ cc SD イー	カメラのSDメモリーカードの異常です。	カメラ側の設定やSDメモリーカードを確認してください。
CAM cc GET LIST ERR CAM cc GET IMG ERR CAM cc DEL IMG ERR		ネットワークカメラとの通信が不安定またはネットワークカメラが接続されていません。	ネットワークカメラとの接続状態を確認してください。

※HDDの交換は販売店にご連絡ください。

表中の記号の意味

記号	意味	詳細
u	本体/ユニット番号	1～6：増設ユニット、0：本体SINGLE、9：本体RAID
f	FAN番号	1～4：ファン番号 (FAN1～FAN4)
d	ディスク番号	1～4：ディスク番号 (HDD1～HDD4) 5：その他
p	ネットワークポート番号	1：カメラポート、2：クライアントPCポート、
cc	カメラ番号	01～32：カメラ番号
vvv	ボリューム番号	NML：通常録画領域、EVT：イベント録画領域、 CPY：コピー領域
e	HDDエラー回数	HDD RAID5復旧中に発生したHDDエラー回数

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは設定・工事に関する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
ブラウザからアクセスできない	▶ ●ネットワークポートに10BASE-Tまたは100BASE-TXケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	—
	▶ ●ネットワークポートの接続表示ランプが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	—
	▶ ●有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 設定編参照
	▶ ●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 > ping “本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	—
	▶ ●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 設定編参照
	▶ ●設定したIPアドレスと設置先のネットワーク／サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ また、ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。	取扱説明書 設定編参照

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
ブラウザー画面に表示されるボタンがずれて表示される	<ul style="list-style-type: none"> Windowsのフォント設定を初期設定から変更している場合に、ブラウザーの表示が異常になることがあります。フォント設定は初期設定のままご使用ください。 	-
ブラウザー画面に表示される内容がすべて表示されない	<ul style="list-style-type: none"> F5キーを押すことで再表示を行います。 	-
画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの [F5] ボタンを押して、画像を再度取得してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 低い録画レート（1 ips未満）で記録された画像データは更新されない場合があります。 	-
正常な画像でライブ画表示・録画がされない（MPEG-4画像）	<ul style="list-style-type: none"> カメラ動作中に本機を起動した場合や、カメラポート側のLANケーブルを接続した場合、直後の最大1分間は正常に画像表示、録画ができないことがあります。 	-
イベントリストにSDメモリーデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーデータは通常の録画イベントリストや日時検索から再生できません。録画イベント検索から「SDメモリー」で絞り込んだ後、イベントリストを選択して再生してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーデータの録画時刻は、SDメモリーカードに録画した時点のカメラ側の時刻になります。カメラ側の時刻を確認してください。 	-
SDメモリーデータが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 録画されている画像枚数が少ない場合、正常に再生されないことがあります。その場合は、コマ送り／逆コマ送りで画像を表示してください。 	-

故障かな!? (つづき)

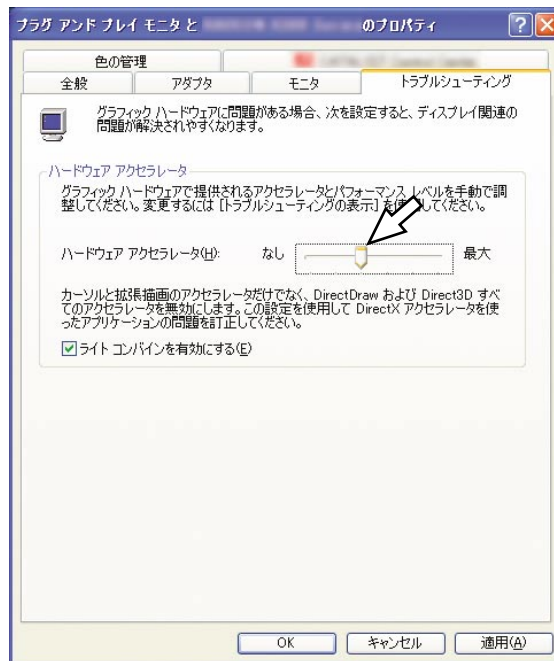
症 状

MPEG-4画像を多画面表示したとき、1つの画像表示エリアに複数のカメラ画像が切り換わり表示される

原 因 ・ 対 策

参照ページ

- PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Windows XPを例に説明します。
 - (1) すべてのブラウザを閉じてからデスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。
 - (2) 画面のプロパティ画面で [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。
 - (3) [トラブルシューティング] タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。



基本操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない

- 正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ユーザー名、パスワードを確認してください。

取扱説明書
設定編参照

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
ダウンロードした画像を再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生画像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた画像は再生できません。 	-
画面に「しばらくお待ちください」が表示されたままになる	<ul style="list-style-type: none"> ActiveXコントロールがインストールされていません。ActiveXコントロールをインストールしてください。 	61
ライブ画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラが設定されていますか？ セットアップメニュー [カメラ] - [ネットワークカメラ設定] の設定を確認してください。 	取扱説明書 設定編参照
	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [スケジュール] - [プログラム] - [ライブ配信] が正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。 	取扱説明書 設定編参照
	<ul style="list-style-type: none"> 接続するカメラと本機のネットワーク設定が正しくされていますか？ 本機とネットワークカメラのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを確認してください。 	取扱説明書 設定編参照
	<ul style="list-style-type: none"> カメラの圧縮方式をM-JPEGに設定している時に、本機のセットアップメニューの保存操作またはプログラム設定の測定操作を連続して行っていると、数分間ライブ画像が黒画になり、録画されないことがあります。その場合は、約10分間、お待ちください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> インターネット経由でMPEG-4画像を表示させる場合、カメラ画像が表示されないことがあります。ルーター設定などのネットワーク機器の影響を受けるため、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	-

故障かな!?(つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>ライブ画像・再生画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windowsの制限付きアカウントのユーザーでログインしている場合、ActiveXコントロールが正常にインストールされないため、映像が表示されません。PCの管理者権限アカウントのユーザーでログインしてください。 	-
<p>ライブ画像の更新が不安定</p> <p>ブラウザーの接続が切断される</p> <p>ネットワークのパフォーマンスが出ない</p> <p>ダウンロードした画像が正しく表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮方式の異なるカメラを混在させた場合、性能が低下（画像の更新が不安定）することがあります。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク回線および本機のネットワーク性能限界以上の設定がされている可能性があります。ライブ配信レート・録画レートの値を小さくするなど、ネットワーク性能に関する設定値を小さくしてください。 	取扱説明書 設定編参照
	<ul style="list-style-type: none"> 本機とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。HUBの通信速度状態および本機のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。（すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度を「100-FULL」に設定することを推奨します。） 	-
<p>カメラが操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラが正しく設定されていますか？ セットアップメニュー [カメラ] - [ネットワークカメラ設定] の設定で設定しているカメラの品番が正しいか確認してください。 	取扱説明書 設定編参照
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラのユーザー名、パスワードが設定されていますか？ セットアップメニュー [カメラ] - [ネットワークカメラ設定] のユーザー名、パスワードが入力しているか確認してください。 	取扱説明書 設定編参照

その他

Windows XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症 状	対応方法	参照ページ
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	<p>—</p>
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Panasonic Corporation'からの'wvasetup.exe'インストールするには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。 	<p>—</p>

故障かな!?(つづき)

症 状	対応方法	参照ページ
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードがInternet Explorerによりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」</p>	<p>●情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード(D)...」を選択してください。 上記の操作を行ってもダウンロードできない場合には、以下の操作を行ってください。 Internet Explorerの [ツール(T)] – [インターネットオプション(O)...] – [セキュリティ] タブ – [レベルのカスタマイズ(C)...] ボタンをクリックしてセキュリティの設定画面を開きます。「ダウンロード」 – 「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。</p>	-
<p>ダウンロードしたファイルを実行しようとする と、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。 「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」</p>	<p>● [実行(R)] ボタンをクリックしてください。</p>	-
<p>ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される</p>	<p>● Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、「その他」 – 「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。</p>	-

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

 **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	DG-ND300Aシリーズ
	販売店名	電話（	）	－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号